

4. 技術経営支援

4.1 知的財産権の取得

4.1.1 知的財産権総括

(1) 知的財産権保有件数

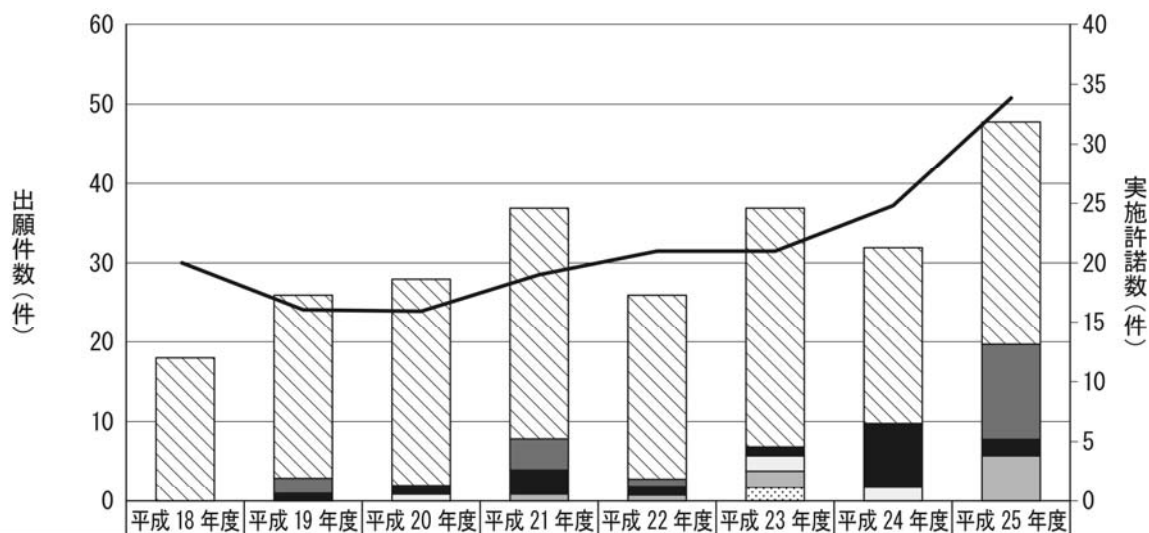
| | | 特許（件） | | 実用新案（件） | | 意匠（件） | 商標（件） | |
|-------|------|-------|-----|---------|-----|-------|-------|---|
| | | 設定登録 | 出願中 | 設定登録 | 出願中 | 設定登録 | 設定登録 | |
| 国内※1 | 今年度分 | 29 | 28 | 2 | 0 | 0 | 0 | |
| | 累計 | 101 | 113 | 5 | 0 | 2 | 4 | |
| 国外※2 | 今年度分 | 0 | 12 | | | | | |
| | 累計 | 2 | 22 | | | | | |
| PCT※3 | 今年度分 | | | | | | | 2 |
| | 累計 | | | | | | | 9 |

※1 国内優先権主張を利用した場合には、原出願は件数から削除しています。また登録となった場合には、累計における「出願中」から削除しています。

※2 自国（日本）指定も含めて計上しています。

※3 PCT出願後、各国への移行が完了したものについては、PCTの「出願中」から削除しています。

(2) 出願案件数の推移（平成18年度～平成25年度まで）



| | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 国内特許出願 | 18 | 23 | 26 | 29 | 23 | 30 | 22 | 28 |
| 外国特許出願 | 0 | 2 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | 12 |
| PCT出願 | 0 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 8 | 2 |
| 実用新案出願 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 |
| 商標登録出願 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 6 |
| 意匠登録出願 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| — 実施許諾数（累積） | 20 | 16 | 16 | 19 | 21 | 21 | 25 | 34 |

4.1.2 保有する登録済み知的財産権

(1) 国内登録特許

| 番号 | 登録番号 | 名称 | 登録年月日 | 発明者 | 内 容 |
|----|-------------|--|-------------|--------------------------------------|--|
| 1 | 第 3062813 号 | べっ 甲基材の再生製造方法 | H12. 5. 12 | 横澤佑治 今津好昭 金谷公彦 浅見淳一 廣瀬徳豊 | 従来廃棄していた製造工程中に発生するべっ 甲端材を再生し、有効利用することができる製造方法に関する |
| 2 | 第 3082911 号 | 球状成型用凹凸金型盤による網目構造の球状繊維成型物及びその製造方法 | H12. 6. 30 | 樋口明久 | 種々の繊維に低融点繊維を均等に混合し、球状に加熱加圧して得られた繊維成型物に関する |
| 3 | 第 3122870 号 | 交流用 LED 点灯回路 | H12. 10. 27 | 上野武司 吉田裕道 宮島良一 佐藤正利 | 電源電圧および周波数の変動に対し、明るさの変動が少なく、ちらつきの少ない交流用 LED 点灯回路 |
| 4 | 第 3261676 号 | 電気ニッケルめっき浴 | H13. 12. 21 | 土井 正 水元和成 茅島正資 田中慎一 | めっき排水中のほう酸やほう素の除去処理を行わなくてもよい、ほう酸を使用しないめっき浴で、緻密で欠陥の少ないニッケルめっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき浴に関する |
| 5 | 第 3292239 号 | 鋳造用すず合金 | H14. 3. 29 | 佐藤健二 他 1 名 | 創造性、転写製に優れ鋳造した製品の色調が銀色に近いものが得られる鋳造用すず合金に関する |
| 6 | 第 3326546 号 | コンピュータシステムの故障検知方法 | H14. 7. 12 | 坂巻佳壽美 | コンピュータシステムの故障を自動的に検知し、システムの信頼性を向上させる方法に関する |
| 7 | 第 3354377 号 | レーザ溶射法による高耐食性改質層の作製方法 | H14. 9. 27 | 一色洋二 藤木 栄 | レーザ溶射法を利用した、鉄鋼材料表面の耐食性の改善 |
| 8 | 第 3406390 号 | 重水素の濃縮方法及び装置 | H15. 3. 7 | 斎藤正明 他 3 名 | 原子力・放射線施設の安全性の判断、地下水系の測定等の指標として利用されている天然水中の重水素の分析に必須な濃縮方法とその装置 |
| 9 | 第 3520505 号 | ポリオレフィン系プラスチック廃棄物からの液体燃料回収方法 | H16. 2. 13 | 山本 真 中澤 敏 | ポリオレフィン系プラスチック廃棄物を、重油中固体触媒剤を使用して常圧で熱分解し、ガソリン、灯油等の軽質留分を生成しないで液体燃料を高収率で回収する方法 |
| 10 | 第 3559727 号 | 放射性核種吸収体とこれを用いた放射性核種の濃度測定法 | H16. 5. 28 | 斎藤正明 | 簡易で安全な放射能測定を実現するため、シンチレータと溶解しやすい発泡ポリスチレンを放射性気体の吸収材として規格化し、この吸収材を用いて放射能を測定する方法 |
| 11 | 第 3590932 号 | EMI プローブ | H16. 9. 3 | 大森 学 山田万寿雄 | 電子機器から放射されるノイズ（放射電磁界）を 3 つの検出面を同軸上に互いに 60 度の角度で配置した EMI プローブを用いて三次元方向の感度特性で検出するため、ノイズ源を高確度かつ迅速に探索できる |
| 12 | 第 3612659 号 | フミン酸の改質による吸水性材料の製造方法 | H16. 11. 5 | 山本 真 中澤 敏 他 2 名 | 草炭からアルカリ抽出したフミン酸に、アクリロニトリルをグラフト重合させたのち加水分解させることを特徴とする吸水性材料の製造方法 |
| 13 | 第 3624394 号 | 電解用活性陰極の製造方法 | H16. 12. 10 | 田中慎一 棚木敏幸 広瀬徳豊 | 水溶液の電気分解による生産過程での電力使用量の低減を可能とした電極の製法 |
| 14 | 第 3719847 号 | 摺動性材料及びその製造方法 | H17. 9. 16 | 三尾 淳 仁平宣弘 | チタン表面層にイオン注入法で塩素を添加することにより、潤滑材を使用しなくても低摩擦指数かつ耐磨耗性に優れた新しい硬質材料およびその製造方法 |
| 15 | 第 3748304 号 | 重水素の濃縮度算出決定装置 | H17. 12. 9 | 斎藤正明 | 天然水中のトリチウムの分析に不可欠な濃縮法で、従来の方法と比較して測定作業を簡易化したうえ、正確な重水素濃縮度を算出する方法および装置 |
| 16 | 第 3779290 号 | 漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆／植物繊維成形体 | H18. 3. 10 | 木下稔夫 上野博志 瓦田研介 他 1 名 | 漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料およびこの材料を金型で加熱圧縮成形した成形体 |

| 番号 | 登録番号 | 名称 | 登録年月日 | 発明者 | 内 容 |
|----|-------------|--|---------------------------|---|---|
| 17 | 第 3812783 号 | 超音波振動付加型摩擦試験機 | H18. 6. 9 | 片岡征二 藤光吉 基 昭夫 中田高志 佐々木武三 他 1 名 | 一般的な汎用試験機に超音波振動装置を組み込み、摩擦低減に対する超音波振動付加の効果を簡便に試験できる摩擦試験機 |
| 18 | 第 3963859 号 | 電動自転車用電源供給装置 | H19. 5. 22 | 三上和正 小林丈士 | 電動自転車の始動時にバッテリーからモータに流れる大きな電流を制限し、必要な電流を補助電源である「電気二重層コンデンサ」から供給することによりバッテリーの長寿命化を図る |
| 19 | 第 3968413 号 | 工作物に穴を形成する放電加工方法 | H19. 4. 11 | 山崎 実 森 紀年 武井健三郎 国枝正典 | 直径数十マイクロンという微細な穴あけに関する技術で、穿孔する穴径より太い電極を用い、電極を＋、加工物を－にし、電極を回転させながら送りつつ放電加工を行うと、電極の外周部が消耗しながら微細な穴が形成できる |
| 20 | 第 3970021 号 | デジタル回路実験・実習遠隔教育方法 | H19. 6. 15 | 森 久直 坂巻佳壽美 他 4 名 | デジタル回路に関する実験・実習を回路を通じて行えるようにした遠隔教育システム |
| 21 | 第 3993784 号 | 多次元座標測定機の性能評価方法、多次元座標測定機の校正用ゲージ及び校正用ゲージの治具 | H19. 7. 24 | 澤近洋史 樋田靖広 浜島義明 他 1 名 | 反転法を利用して被測定物を多次元で測定するため、三次元座標測定機において、スケール誤差、真直度、および直角度を容易に評価するための方法および校正用ゲージ |
| 22 | 第 3992536 号 | ラドン等の放射性核種の濃度測定方法とこの方法に用いる装置 | H19. 7. 24 (H19. 8. 3) | 斎藤正明 | 遮光したチャンバー内にプラスチックシンチレータおよび光電子増倍管を対面配置し、チャンバー内に連続的に流入させた試料水または試料空気に含まれるラドンをシンチレータに吸収させるラドンの放射線エネルギーでシンチレータの蛍光剤が発光し、その回数を倍增管で計数する |
| 23 | 第 4046450 号 | 表面プラズモン共鳴センサ | H19. 11. 30 | 上野武司 加澤エリト 佐々木智憲 他 1 名 | 光の波長または光の入射角度を変化させることにより生じる表面プラズモン共鳴現象を利用し、物質の濃度あるいは物質の識別に用いられる、コンパクトで良好な感度を有するセンサ |
| 24 | 第 4086241 号 | 水素吸蔵合金粉末 | H20. 2. 29 | 内田聡 他 3 名 | 鉄とチタンを主成分とする金属原料粉末をボールミリングすることにより得られる水素吸蔵合金粉末 |
| 25 | 第 4125671 号 | ノイズ測定用多素子アンテナ | H20. 5. 16 | 寺井幸雄 天早隆志 清水康弘 | 屋外の都市空間ノイズを高感度に測定するための片手で持ち運びできる小型アンテナに関するもの |
| 26 | 第 4126576 号 | 铸造用アルミニウム合金 | H20. 5. 23 | 佐藤健二 他 2 名 | 材料欠陥が少なく品質・強度が向上し、かつ塑性加工しても製品の割れが発生しにくくなり加工工数の低減化と製品歩留まりが向上する |
| 27 | 第 4222515 号 | ダイヤモンドの研磨方法と装置 | H20. 11. 28 | 横澤 毅 基 昭夫 片岡征二 仁平宣弘 | 超音波で振動しているステンレス工具をダイヤモンドの表面に押しあてることにより、ダイヤモンドを研磨する方法 |
| 28 | 第 4226875 号 | 放電加工による素材の成形方法 | H20. 12. 5 | 山崎 実 鈴木岳美 森 紀年 国枝正典 | 放電加工により一度開けた穴を利用して、直径数 μ m の細い電極や断面形状の複雑な電極を容易に作る事ができる |
| 29 | 第 4233222 号 | 着色ガラスの製造方法 | H20. 12. 19 | 鈴木 蕃 大久保一宏 小山秀美 田中 実 陸井史子 | 一般的なソーダ石灰ガラスの原料に、重量割合で 2～50% の三宅島火山灰を配合することにより、清澄剤を使わなくてもガラス中に気泡が残留せず、また、着色剤を使用することなく美しい青色に発色する高品質の着色ガラスが製造できる |
| 30 | 第 4359537 号 | 立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法 | H21. 8. 14 | 樋口明久 吉野 学 | 立体製織体、金属繊維立体製織体の製造方法製織繊維の一部を屈曲させ立体製織体を得るための構造および製法の改良に関するもの |
| 31 | 第 4392719 号 | 母材表面の下地処理方法及びこの方法により下地処理された表面を持つ母材及び製品 | H21. 10. 23 | 片岡征二 基 昭夫 玉置賢次 他 3 名 | プレス用金型や機械部品の摩擦面などにおける摩擦特性を改善し、DLC 膜を強固に密着させる加工方法 |
| 32 | 第 4394050 号 | 低摩擦性、耐磨耗性を向上させた金属板の製造方法 | H21. 10. 23 | 藤木 栄 他 1 名 | 金属板およびその製造方法に関して金属母材表面の低摩擦性、耐磨耗性を一層向上させた金属板に関する |

| 番号 | 登録番号 | 名称 | 登録年月日 | 発明者 | 内 容 |
|----|-------------|---|-------------|---------------------------------------|--|
| 33 | 第 4568142 号 | 放電加工による素材の成形方法 | H22. 8. 13 | 山崎 実 鈴木岳美 國枝正典 | 放電加工法により任意の微細軸を高精度で成形する方法に関する |
| 34 | 第 4573174 号 | 放射線廃棄物の処理方法及びその焼結体 | H22. 8. 27 | 小山秀美 小林政行 他 1 名 | 低濃度放射線物質を含有する廃棄物の処分を行うにあたり、発生した排気物の減容化だけでなく安全性、安定性や取り扱いやすさを画期的に向上させる技術 |
| 35 | 第 4599529 号 | 放射線照射判別方法および放射線照射判別システム | H22. 8. 11 | 後藤典子 山崎正夫 他 3 名 | 食品や生薬に対する放射線照射の有無の判別を行うシステムと方法に関するもの |
| 36 | 第 4680612 号 | カーボンオニオンの製造方法 | H23. 2. 10 | 基 昭夫 片岡征二 後藤賢一 玉置賢次 他 8 名 | 容易な技術で、従来の方法に比べて簡便でかつ安易にカーボンオニオンを製造することができる実用的な方法を提供すること |
| 37 | 第 4740439 号 | 塗装用ブラシ | H23. 5. 13 | 木下稔夫 他 2 名 | ブラシ本来の機能を失うことなく毛束部の含浸保水能力を著しく向上させ、従来不可能であった低粘度塗料の塗布を可能にしたブラシ |
| 38 | 第 4764973 号 | CRC 値の算出装置 | H23. 6. 24 | 坂巻佳壽美 乾 剛 高山匡正 他 4 名 | 誤り検出方式の一つである簡易なハードウェアにおいて実現できるシリアル伝送路における誤り検査等に広く用いられる回路規模の増大を極力抑え回路の高速化を実現した |
| 39 | 第 4776212 号 | マルチ X 線の発生方法及びその装置 | H23. 7. 8 | 鈴木隆司 | 1 種類以上の金属元素からなるフィルターを用いて、X 線発生装置から出る連続 X 線を単色 X 線または 2 本以上のマルチ X 線にする方法および装置に関するもの |
| 40 | 第 4791746 号 | 無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト | H23. 7. 29 | 田中 実 上部隆男 他 2 名 | 鉛加工物を用いずに、ホウ珪酸塩系ガラス原料を利用して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関するもの |
| 41 | 第 4828159 号 | 赤外線追尾装置 | H23. 9. 22 | 大畑敏美 | パソコンや携帯電話に使われている赤外線通信技術を活用し、通信信号に新たに提案する振幅変調信号を付加することで、通信可能範囲や距離を感知し、信号発生方向に自動追尾する装置 |
| 42 | 第 4827657 号 | 排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析方法と、排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析用前処理装置と、排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析用前処理キット | H23. 9. 22 | 野々村誠 栗田恵子 | 排ガス中のハロゲン化合物と硫黄酸化物を分析するための前処理装置と前処理キットを提供することにより、排ガス中のこれらの成分を簡便、迅速、安価に測定することができる |
| 43 | 第 4832785 号 | 表面改質された超高分子量ポリエチレン製成形品、およびその製造方法 | H23. 9. 30 | 谷口昌平 | 人工関節などに用いられる超高分子量ポリエチレンの低ポリエチレンの低摩擦化、耐磨耗性の向上を目的としている |
| 44 | 第 4847931 号 | 揮発性有機物除去装置及び揮発性有機物検出方法 | H23. 10. 21 | 紋川 亮 石東真典 加澤エリト | ポリマーが VOC を吸収することで溶解し、その物性値が変化することを利用した VOC センサー等を組み込んだ揮発性有機物の除去装置およびその検出方法 |
| 45 | 第 4851432 号 | 揮発性有機物回収処理装置及びこれを有する揮発性有機物回収処理システム | H23. 10. 28 | 紋川 亮 | 多孔質吸着剤が持つ VOC 吸着処理能力の高さと、揮発性有機物吸収材の持つ高い VOC 吸収能力を複合するという技術を用いた有用な揮発性有機物回収処理装置 |
| 46 | 第 4873617 号 | 低摩擦特性と耐剥離性を有する硬質膜の被覆部材 | H23. 12. 2 | 基 昭夫 後藤賢一 他 3 名 | 研磨した第一硬質膜の表面に DLC 膜をコーティングして第二硬質膜とし、表面を鏡面に研磨する硬質膜被覆工具および摺動材の製造方法 |
| 47 | 第 4920007 号 | ガラス発泡体の製造方法、ガラス発泡体及びガラス発泡体の再生方法 | H24. 2. 10 | 中澤亮二 小山秀美 | 排水中のリン酸を回収し、リン酸肥料として再資源化するのに適した高いリン酸吸着能を有し、かつリン酸の再解離が容易なガラス発泡体の製造方法に関するものである |

| 番号 | 登録番号 | 名称 | 登録年月日 | 発明者 | 内 容 |
|----|-------------|--|-------------|--|--|
| 48 | 第 4940464 号 | ネットワーク機器試験装置 | H24. 3. 9 | 坂巻佳壽美 乾 剛 他 4 名 | 通信メディアチップを直接 FPGA の回路により制御することにより、高速な試験を行う。ハッシュ関数をパケットの一部検出に用いることで高速なフィルタリング試験を実現する |
| 49 | 第 4936349 号 | 金属内包カーボンナノカプセルの製造方法 | H24. 3. 2 | 基 昭夫 片岡征二 他 2 名 | 量産性に優れた金属内包カーボンカプセルの製造方法 |
| 50 | 第 5019445 号 | 低摩擦摺動部材および低摩擦転動部材 | H24. 6. 22 | 基 昭夫 他 4 名 | 大気中、真空中、水中および潤滑剤中で低摩擦係数を有し、耐久性、耐荷重性に優れた摺動部材および転動部材を提供する |
| 51 | 第 5022207 号 | 多層編地および多層編地の編成方法 | H24. 6. 22 | 飯田健一 | 5 層編地や 7 層編地など、3 層より多くの層を有する多層編地を提供する |
| 52 | 第 5025209 号 | 絶縁層を形成するための無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト | H24. 6. 29 | 田中 実 上部隆男 他 3 名 | 絶縁層を形成するガラス組成物中に PbO を含まない絶縁層形成用のガラスフリットを提供する |
| 53 | 第 5055617 号 | 分注装置 | H24. 8. 10 | 楊 振 他 3 名 | 従来の分注装置の高さを低くし、小型の分注装置とする |
| 54 | 第 5078002 号 | ダイヤモンド膜被覆部材およびその製造方法 | H24. 9. 7 | 玉置賢次 片岡征二 他 2 名 | 鉄基合金上に密着性よくダイヤモンド膜が被覆されたダイヤモンド膜被覆部材およびその製造方法を提供する |
| 55 | 第 5083768 号 | バイオセンサシステム | H24. 9. 14 | 沢井正之 他 2 名 | 溶存酸素の影響を受けずに、NAD+ または NADP+ を補酵素とする脱水素酵素の基質を正確に定量することができ、安価に製造することができ、かつ携帯性に優れた、バイオセンサシステムを提供すること |
| 56 | 第 5105957 号 | 自動車燃料中の植物由来エタノール混合量の測定法 | H24. 10. 12 | 斎藤正明 | 植物由来のエタノールを含む炭化水素系自動車燃料中のバイオエタノールの正確で簡便な測定法を提供する |
| 57 | 第 5107261 号 | 手術ナイフ、手術ナイフ用ブレード及びその製造方法、並びに手術ナイフ用ハンドル | H24. 10. 12 | 加澤エリト 他 1 名 | 単結晶シリコンの異方性エッチング技術を用いて手術用ナイフを製造する技術に関する |
| 58 | 第 5107571 号 | LED 制御方法 | H24. 10. 12 | 宮島良一 小林丈士 五十嵐美穂子 | 多数の多色 LED を均一に同時点灯可能な LED 制御回路を提供する |
| 59 | 第 5116245 号 | 自動分析装置に用いる検量線作成用化合物 | H24. 10. 26 | 上野博志 山本 真 石田直洋 金子真理奈 他 1 名 | 硫黄および主要なハロゲン (F、Cl、Br、I) について同時に検量線を作成することのできる新規な検量線作成用化合物を提供する |
| 60 | 第 5135022 号 | 揮発性有機物分解菌用担持体及び汚染土壌の浄化方法 | H24. 11. 16 | 紋川 亮 | 特定の高分子吸収材の持つ高い揮発性有機物吸収能力を活用し、原位置処理で、揮発性有機物を効率的に分解することが可能とする揮発性有機物分解菌用担持体、および、該揮発性有機物分解菌用担持体を利用した汚染土壌の浄化方法を提供することである |
| 61 | 第 5135341 号 | 燃料用電池用セパレータプレートの製造方法及びそれを利用した燃料電池 | H24. 11. 16 | 伊東洋一 上野博志 他 1 名 | 燃料電池のセパレータプレートにおける反応ガスの流通経路のパターンをスクリーン印刷により高精度に形成する。ベースプレート 10a 上に反応ガスの流通経路となる所定のパターンの隔壁 11 を印刷によって形成する燃料電池用セパレータプレートの製造方法において、導電性材料を含むインク組成物をスクリーン印刷によって順次上方に複数回印刷を重ねることにより隔壁 11 となる所定の厚さの導電性インキ層 11a~11e を形成することを特徴とする |
| 62 | 第 5137768 号 | 断面形態制御繊維およびその製造方法 | H24. 11. 22 | 山本清志 | 減量加工用繊維、異形断面繊維、極細繊維等の断面形態を制御されたポリエチレンテレフタレート繊維およびその製造方法を提供する |
| 63 | 第 5140519 号 | はんだの組成分析方法 | H24. 11. 22 | 林 英男 上本道久 | 鉛フリーはんだに含まれる全合金構成元素と不純物元素とを同時に分析する方法を提供する |
| 64 | 第 5147633 号 | フッ素アパタイトの製造方法 | H24. 12. 7 | 渡辺洋人 仙名 保 | 高い活性の可視光応答型光触媒が得られるように、ヒドロキシアパタイト粉体からフッ素アパタイトを製造する |

| 番号 | 登録番号 | 名称 | 登録年月日 | 発明者 | 内 容 |
|----|-------------|---|------------|---------------------------------------|---|
| 65 | 第 5175584 号 | 局所表面プラズモン共鳴イメージング装置 | H25. 1. 11 | 紋川 亮 | 金ナノパターン基板上で発生する局所表面プラズモン共鳴 (LSPR) を利用して、DNA およびタンパク質などの多検体試料を基板上に配置し、蛍光などのタンパク質標識を行うことなく検出する LSPR イメージング装置を提供する |
| 66 | 第 5177472 号 | カット面を着色したダイヤモンド粒子の製造方法、およびカット面に文様を描画したダイヤモンド粒子の製造方法 | H25. 1. 18 | 谷口昌平 他 1 名 | 低価格の天然ダイヤモンドを着色する方法であり、短時間に処理でき、照射後の熱処理を必要としないダイヤモンド製造方法を提供する |
| 67 | 第 5183301 号 | 成型型およびその製造方法 | H25. 1. 25 | 寺西義一 他 3 名 | ガラス状炭素部材を用いて、離型性が高く、しかも凹凸部のアスペクト比が大きい場合に適した成型型およびその製造方法を提供する |
| 68 | 第 5183328 号 | 編成体及びその製造方法 | H25. 1. 25 | 樋口明久 | 無機繊維と収縮繊維との交差糸から編成されたものを用い、収縮繊維を収縮させたことにより無機繊維が不規則に変形した状態で編成されていることを特徴とする編成体 |
| 69 | 第 5207669 号 | 再生繊維製造装置及び繊維製造方法 | H25. 3. 1 | 樋口明久 他 2 名 | 塩ビ系壁紙を粉砕処理した後に得られる塩ビ樹脂粉体とパルプ繊維の混合物を液体中で攪拌や分離、濾過を行い良質なパルプ繊維を回収する装置およびその製造方法 |
| 70 | 第 5203603 号 | 親水性熱可塑性共重合体 | H25. 3. 5 | 清水研一 篠田 勉 上野博志 | 芳香族ビニルジエン共重合体の二重結合部分のみにカルボキシ基を付加して、親水性の高分子材料を得る方法に関する |
| 71 | 第 5214290 号 | 食品用 X 線異物検査装置およびその方法 | H25. 3. 8 | 大平倫宏 周 洪鈞 他 2 名 | ベルトコンベア上を流れる食品パックに X 線を透過し、異物の判定を行う装置で、従来では検出困難であった微小な樹脂やガラスなどの異物を検出する装置および方法を開発した |
| 72 | 第 5231294 号 | 揮発性有機化合物吸着材とその製造方法 | H25. 3. 29 | 瓦田研介 井上 潤 | 廃木材を原料とするバイオエタノール製造で排出されるリグニン残渣を揮発性有機化合物 (VOC) 吸着材に転換する技術に関するものである |
| 73 | 第 5242289 号 | 揮発性有機物吸収材及びその製造方法 | H25. 4. 12 | 紋川 亮 田村和男 | 取り扱いが簡便で、VOC の吸収能が高く、さらに活性炭やメソポーラスシリカ等といった従来の VOC 吸着材よりも VOC の吸収能が極めて高い吸収材であるため、吸収材の交換や再生を頻繁に行う必要のない揮発性有機物吸収材及びその製造方法に関する |
| 74 | 第 5243222 号 | 粉体分離装置、粉体分離システム、及び粉体分離方法 | H25. 4. 12 | 樋口明久 他 8 名 | 異種の粉体の混合物を好適に分離可能な粉体分離装置、粉体分離方法、及び、これを用いた粉体分離システムに関する |
| 75 | 第 5261690 号 | 高強度ダイヤモンド膜工具 | H25. 5. 10 | 横澤 毅 寺西賢次 寺西義一 片岡征二 他 2 名 | 気相法でダイヤモンド膜を合成する際に、合成雰囲気中にボロンを含むガスを積極的に導入することでボロンドープダイヤモンド膜を有する高強度ダイヤモンド膜工具に関する |
| 76 | 第 5268050 号 | カーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成型体及びカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法 | H25. 5. 17 | 柳 捷凡 他 2 名 | 機械強度 (曲げ強度、曲げ弾性率) や導電性 (特に均一性) に優れたカーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成型体及びカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法に関する |
| 77 | 第 5281926 号 | 揮発性有機化合物吸着剤とその製造方法、並びに樹皮又はその成型体の利用方法 | H25. 5. 31 | 瓦田研介 井上潤 | 樹皮又はその成型体を有効利用できる、揮発性有機化合物吸着剤とその製造方法、並びに樹皮又はその成型体の利用方法に関する |
| 78 | 第 5301140 号 | ガラス状炭素材からなる微細成型材料とその製造方法ならびにそれを用いた微細成型 | H25. 6. 28 | 寺西義一 他 1 名 | 凹凸部の寸法を数 nm~数百 μ m 程度とする微細な成形が行われた微細成型の材料とその製造方法ならびにそれを用いた微細成型に関する |
| 79 | 第 5302860 号 | 家畜骨残渣の処理方法 | H25. 6. 28 | 柳 捷凡 | 食肉と骨とを含む家畜骨材料からエキスを抽出した後の家畜骨残渣の処理方法に関する |

| 番号 | 登録番号 | 名称 | 登録年月日 | 発明者 | 内 容 |
|----|-------------|---|-------------|--|---|
| 80 | 第 5308608 号 | 縮結体締め付け力安定化剤、これを用いた縮結力安定化法、安定化剤を付着した縮結体構成部品 | H25. 7. 5 | 大久保一宏 石田直洋 他 2 名 | 縮結体の締め付け力を安定化することができる安定化剤、及びこれを用いた縮結体の締め付け力安定化方法、更に、同安定化剤を予め付着させてなる縮結体を構成する部品に関する |
| 81 | 第 5309354 号 | 高速パターンマッチング装置の探索方法 | H25. 7. 12 | 坂巻佳壽美 乾 剛 高山匡正 他 4 名 | バイナリデータのパターンマッチングを高速に行う高速パターンマッチング装置の探索方法に関する |
| 82 | 第 5350866 号 | 皮革または革製品 | H25. 8. 30 | 飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎 巖 中村 宏 | 皮革および革製品の表面に付着したおもに環境由来のかび胞子の発芽を抑制し、かびの発生を防止もしくは低減化できる皮革または革製品に関する |
| 83 | 第 5367341 号 | アルミニウム合金鋳物およびアルミニウム合金鋳物の製造方法 | H25. 9. 20 | 渡部友太郎 | Al-Si (Al-Si-Mg) 系合金と Al-Mg 系合金を複合化したアルミニウム合金鋳物およびこの製造方法に関する |
| 84 | 第 5376669 号 | 金属部材のプレス加工方法およびプレス加工用金型 | H25. 10. 4 | 小金井誠司 他 6 名 | フッ素樹脂膜を潤滑皮膜としていても、プレス加工が繰り返し行えるように金型の耐久性を高めるとともに、チタン部材やマグネシウム合金部材といった難加工金属部材について、ドライ加工を行えるようにすることができるプレス加工方法等に関する |
| 85 | 第 5378024 号 | 揮発性有機物吸収材 | H25. 10. 4 | 紋川 亮 藤井恭子 | 揮発性有機物の吸収能（吸収量及び吸収速度）が高く、また、熱処理により脱着が簡単にできるため、吸収した揮発性有機物の処理が容易な揮発性有機物吸収材に関する |
| 86 | 第 5382638 号 | マグネシウム合金部材の成形方法およびその成型用金型 | H25. 10. 11 | 基 昭夫 他 4 名 | 絞り、曲げ成形等のプレス加工によるマグネシウム合金部材の成形方法およびその成型用金型に関する |
| 87 | 第 5388304 号 | 掲示板のための照明装置 | H25. 10. 18 | 中村広隆 榎本博司 三上和正 長谷川孝 西澤裕輔 他 3 名 | 掲示板のための照明装置、より詳細には掲示板に掲げられた情報（掲示情報）についての視認性の改善に寄与する照明装置に関する |
| 88 | 第 5394132 号 | 揮発性有機化合物の浄化装置及びその浄化方法 | H25. 10. 25 | 紋川 亮 他 1 名 | 小型で設置が容易な、揮発性有機化合物に汚染された大気、土壌からその汚染化合物を吸着剤で除去して光触媒で分解する揮発性有機化合物の浄化装置、およびその浄化方法に関する |
| 89 | 第 5399034 号 | 微細成型型および微細成型用基材並びに微細成型型の製造方法 | H25. 11. 1 | 寺西義一 三尾 淳 石束昌典 | コート材や潤滑材を塗布することなく離型性を高めた微細成型型および微細成型用基材並びに微細成型型の製造方法に関する |
| 90 | 第 5404465 号 | ポリアニリン半導体材料 | H25. 11. 8 | 中川清子 谷口昌平 山崎正夫 | 化学的操作では必要であった廃液の処理などが不要なポリアニリン半導体材料に関する |
| 91 | 第 5414719 号 | 揮発性有機化合物分解用無機酸化物成形触媒とその製造方法 | H25. 11. 22 | 染川正一 他 1 名 | 強度が強く保たれるとともに高い触媒活性が保持され、安価で簡便な押し出し成形法、低温での焼成が可能な無機酸化物成形触媒等に関する |
| 92 | 第 5413939 号 | タンパク質自動合成精製方法及び装置 | H25. 11. 22 | 楊 振 佐々木智憲 | ディスク内に微細流路及び反応室等を形成して内部でタンパク質を自動合成し、精製したタンパク質を供給可能とするディスクを用いたタンパク質自動合成生成装置に関する |
| 93 | 第 5422320 号 | 揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法 | H25. 11. 29 | 染川正一 石川麻子 他 1 名 | 揮発性有機化合物分解用触媒として用いられている貴金属担持触媒よりも材料コストを抑え、より低い温度で揮発性有機化合物を分解することができる触媒等に関する |
| 94 | 第 5425689 号 | ネズミ誘引方法および装置、並びにネズミ捕獲装置 | H25. 12. 6 | 神田浩一 坂巻佳壽美 大原 衛 金田泰昌 加藤光吉 他 4 名 | 複数の音節からなるユニットが複数回繰り返される周波数特性を有する超音波を用いることによって、優れた誘引効果を得ることができ、ネズミを効率よく捕獲することができるネズミ誘引方法等に関する |

| 番号 | 登録番号 | 名称 | 登録年月日 | 発明者 | 内 容 |
|-----|-------------|----------------------------------|-------------|-------------------------------|---|
| 95 | 第 5438287 号 | 難溶性アミノ酸類含有混合組成物及びその製造方法、並びに皮膚外用剤 | H25. 12. 20 | 柳 捷凡 他 3 名 | 難溶性アミノ酸類微細粒子及びその製造方法に係わり、さらに皮膚外用剤に関する |
| 96 | 第 5435911 号 | 除放射性製剤とその製造方法 | H25. 12. 20 | 飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎 巖 | 短期間で気化し易い常温揮発性薬剤成分を緩やかに放出することができ、廃棄物量が少なく、薬剤成分の効果の消失を容易に判別することができ、人体への安全性も高い徐放射性製剤とその製造方法に関する |
| 97 | 第 5439155 号 | 歯間清掃具及びその製造方法 | H25. 12. 20 | 許 深 樋口明久 | 歯の表面に付着している歯垢等の汚れを除去するための歯間清掃具及びその製造方法に関する |
| 98 | 第 5441485 号 | 揮発性有機物処理装置及び揮発性有機物処理方法 | H25. 12. 27 | 紋川 亮 | 揮発性有機物の触媒分解処理を静的環境で行うことができ、触媒活性の低下が抑制される揮発性有機物処理装置及び揮発性有機物処理方法に関する |
| 99 | 第 5448549 号 | 光イオン化検出器及び光イオン化検出方法 | H26. 1. 10 | 平野康之 加澤エリト 吉田裕道 原本欽郎 | 金属電極に交流電圧又は交流電流を印加することで、汚染物質の存在下でも VOC 濃度の測定が可能な光イオン化検出器等に関する |
| 100 | 第 5460113 号 | 局在表面プラズモン共鳴測定基板及び局在表面プラズモン共鳴センサ | H26. 1. 24 | 紋川 亮 加澤エリト | VOC 等の検出対象物を捕捉するために多孔質吸着材を備えているため、表面へのガス分子吸着による物性変化が大きく、極めて高感度なガス検出が可能な、局在表面プラズモン共鳴現象を利用した化学センサに関する |
| 101 | 第 5479826 号 | ガス浄化装置、プラズマ生成用電極、及びガス浄化装置 | H26. 2. 21 | 三尾 淳 他 2 名 | 低コストかつ短時間でガスの分解及び処理を実現可能とする新規な構成のガス浄化装置及びガス浄化方法、並びにこれに使用するプラズマ電極に関する |

(2) 外国特許登録

| 番号 | 登録番号 | 名称 | 登録年月日 | 発明者 | 内 容 |
|----|------------------------|--------------------------|------------|-----------------------|--|
| 1 | 米国特許 第 5203901 号 | 結晶化ガラスの製造方法 | H5. 4. 20 | 鈴木 蕃 | 下水汚泥焼却灰を原料に、天然の御影石または大理石より優れた特性を備えた結晶化ガラスを製造する方法 |
| 2 | 韓国特許 第 10-1212393 号 | 無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト | H24. 12. 7 | 田中 実 上部隆男 他 2 名 | 鉛加工物を用いずに、ホウ珪酸塩系ガラス原料を利用して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関するもの |


(3) 実用新案登録

| 番号 | 登録番号 | 名称 | 登録年月日 | 発明者 | 内 容 |
|----|---------------|------------------|------------|------------------------------|---|
| 1 | 登録第 3149562 号 | モバイル細工及びモバイル | H21. 3. 11 | 秋山 正 他 1 名 | 立体性を有し、かつより複雑な動作を現出し得るモバイル細工 |
| 2 | 登録第 3170441 号 | 照明器具 | H23. 8. 24 | 上野明也 他 1 名 | シェード部に設けられた模様板を光源が発する熱から保護し、インテリア性の高い照明器具 |
| 3 | 登録第 3171954 号 | ブラジャー | H23. 11. 2 | 藤田薫子 他 1 名 | 授乳者や、乳ガンにより乳房を切除した乳ガン患者等が使用する、各種パッドを装着可能な圧迫感の小さいブラジャー |
| 4 | 登録第 3183799 号 | 注射器の針部取り外し器具ユニット | H25. 5. 8 | 石堂 均 他 2 名 | 注射器使用の際の針刺し事故の防止と、自己注射器材のユーザビリティを追求するための注射器、特に、ペン型のインスリン自己注射器の針部材取り外し器具ユニットに関する |
| 5 | 登録第 3183939 号 | 炭素繊維強化樹脂製環状ばね | H25. 5. 15 | 西川康博 佐野宏康 小船論史 岩田雄介 | 炭素繊維で補強された樹脂を環状に巻回して成る炭素繊維強化樹脂製環状ばねに関する |

(4) 意匠登録

| 番号 | 登録番号 | 意匠に係る物品 | 登録年月日 | 内 容 |
|----|---------------|---------|------------|---|
| 1 | 登録第 1433084 号 | ランプシェード | H24. 1. 6 | LED などの光源を内部に収容して使用するシェードである |
| 2 | 登録第 1439104 号 | ランプシェード | H24. 3. 23 | LED などの光源を内部に収容して使用するシェードであり、六角形状の面の素材が透光性を有するものである |

(5) 商標登録

| 番号 | 登録番号 | 名称 | 登録年月日 | 内 容 |
|----|---------------|---|------------|---|
| 1 | 登録第 5358694 号 |  | H22. 10. 8 | 世界一高い電波塔東京スカイツリー、墨田区をモチーフにデザイン開発した墨田区発の子供服中心のブランド |
| 2 | 登録第 5424369 号 | サスティーモ (標準文字) | H23. 7. 8 | 漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料、そして、この材料を金型で加熱圧縮成形した漆器のブランド |
| 3 | 登録第 5466219 号 |  | H24. 1. 27 | 有毒物を含まずに赤色の発色を実現したガラスのブランド |
| 4 | 登録第 5492668 号 | merilabo● | H24. 5. 11 | メリヤス (ニット) の使い方を研究するというコンセプトのもと、メリヤスの「メリ」とラボラトリー (実験室) の「ラボ」から生まれたニットブランド |

4.1.3 出願案件

(1) 国内出願

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 発明者 | 内 容 |
|-----------------|---|-------------|--|------------------------------|--|
| 平成 18 年度 | | | | | |
| 1 | 2007-079315 | H19. 3. 26 | アーク発光分光による材料中の微量成分分析法 | 佐々木幸夫 | アーク発光分光分析装置にアルゴンと酸素の混合ガスを導入することによる金属材料中の炭素を主とした微量成分の定量分析に関する事 |
| 平成 19 年度 | | | | | |
| 1 | 2007-303522 | H19. 11. 22 | 吸着槽交換時期を監視するシステム及びこれを具備する揮発性有機化合物廃ガス処理装置 | 阪口文雄 武田有志 | 揮発性有機化合物ガス処理装置において、吸着体の効率的な交換や脱着が図ることのできる、吸着体による捕集不能となる状態の検出機構ならびに検出方法に関する |
| 2 | 2008-018066 | H20. 1. 29 | マイクロバルブを有する微細流路 | 伊東洋一 基 昭夫 他 2 名 | 微細流路内に磁力を用いて金属内包カーボンナノ粒子を固定・移動させることにより液体や気体の流れを制御(ON・OFF)させる技術 |
| 3 | 2008-022789 | H20. 2. 1 | 路面標示物の除去装置及び路面標示物の除去方法 | 小池茂幸 | 道路路面標示塗料をヒーターにより溶かし、ローラーブラシでかきとり、しかも残渣を効率よく回収することのできる道路の路面表示物の消去方法および装置に関する |
| 4 | 2008-054596 | H20. 3. 5 | ガス濃度測定装置および測定方法、累積ガス量測定装置および測定方法、ガス除去装置における除去剤の除去限界類推装置および類推方法 | 武田有志 他 3 名 | 管内を通過する揮発性有機化合物ガスの累積ガス量を 1 つのセンサで計測する機構とその方法に関する |
| 平成 20 年度 | | | | | |
| 1 | 2008-303347 | H20. 11. 28 | 生地加工方法 | 木村千明 小林研吾 藤田 茂 | 合成繊維とセルロース系繊維とを組成繊維とする織物または編物から成る生地に透かし模様と凹凸模様とを同時形成するための生地加工方法 |
| 2 | 2009-024032 | H21. 2. 4 | ダイヤモンド研磨装置及びダイヤモンド研磨方法 | 横澤 毅 片岡征二 他 1 名 | 本発明は、曲面形状・微少孔・複雑形状面などにコーティングされた CVD ダイヤモンド膜表面を、短時間で効率よく研磨できる装置と方法に関するもの |
| 3 | 2009-042030 | H21. 2. 25 | マグネシウム合金部材のせん断加工用金型およびせん断加工方法 | 基 昭夫 他 2 名 | マグネシウム合金は、常温での延性が乏しくせん断面が荒れるため、最適加工条件や工具形状を開発し、現行品に使用されているアルミニウム合金と同等のせん断面平滑度を得た |
| 4 | 2009-042804 | H21. 2. 25 | 織物及び編物のプリーツ性試験方法とその装置 | 田中みどり 岩崎謙次 | 伸長法プリーツ性試験方法の距離測定を目視から画像センサーによる方法に改善し、正確かつ効率的な試験が可能となる装置を製作した |
| 5 | 2009-053490 | H21. 3. 6 | 局在プラズモン共鳴センサ | 加澤エリト 紋川 亮 | 局在表面プラズモン共鳴現象を応用した化学センサの性能向上に関する。センサ性能低下の要因となっていた導電・密着層を熱処理により誘電体化することを特徴とする |
| 平成 21 年度 | | | | | |
| 1 | 2009-134114 【優先権主張】 原出願 2008-145511 | H21. 6. 3 | 編針及びその製造方法 | 堀江 暁 森河和雄 三尾 淳 川口雅弘 | 金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するためにダイヤモンドライクカーボン膜を施した編針を開発した |
| 2 | 2009-134259 | H21. 6. 3 | 揮発性有機化合物の浄化装置及びその浄化方法 | 紋川 亮 他 1 名 | 小型で設置が容易な、揮発性有機化合物に汚染された大気、土壌からその汚染化合物を吸着剤で除去して光触媒で分解する揮発性有機化合物の浄化装置、およびその浄化方法 |

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 発明者 | 内 容 |
|----------|---|-------------|----------------------------|---|---|
| 3 | 2009-200679 【優先権主張】 原出願 2008-224364 | H21. 8. 31 | 弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器製造装置 | 横山幸雄 | 積層造形法を適用した弦楽器、および弦楽器の製造作製方法に関する発明の特許出願である。本発明は、積層造形法の応用方法及び生産装置としての活用方法とを示している |
| 4 | 2009-213585 | H21. 9. 15 | 画像合成装置及び画像合成方法 | 大平倫宏 他 1 名 | 取得順序未知の特徴に乏しい画像群に対するパノラマ画像合成装置および方法についての特許出願である。請求項では、合成後に取得漏れがあった際のアラーム機能についても記述をしている |
| 5 | 2009-285657 | H21. 11. 27 | LED 点灯回路 | 寺井幸雄 染谷克明 小林丈士 | 商用電源またはその他の交流電源を利用する高効率で高周波ノイズ発生のない、LED 点灯回路 |
| 6 | 2009-286822 | H21. 12. 17 | 防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品 | 小沼ルミ 宮崎 巖 飯田孝彦 濱野智子 瓦田研介 他 1 名 | 表面に塗膜を形成されていない木材および木製品、特に、桐の無垢材や、桐のつき板を用いた天然木化粧合板などの木質材料、桐箱・桐たんすなどの木製品に対しても、これらの表面の質感を損なうことなく適用することができ、素材・半製品・製品のいずれに対しても簡便な工程で容易に安価に使用することができる、防かび剤組成物および防かび加工方法 |
| 7 | 2010-046922 | H22. 3. 3 | 活性炭及びその製造製法 | 瓦田研介 井上 潤 萩原利哉 他 1 名 | 従来の煩雑な工程を経ずに容易な工程で、未利用バイオマス（特に、杉やひのき等の木質系未利用バイオマス）を原料として活用することができ、しかもコストパフォーマンスに優れた、高比表面積を有する活性炭およびその製造方法 |
| 8 | 2010-48371 | H22. 3. 4 | 多孔質シリカならびにその製造方法および集合体 | 渡辺洋人 他 2 名 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用して有効な技術 |
| 9 | 2010-47994 | H22. 3. 4 | 防護服 | 加藤貴司 | 脱衣し易く、製造が容易で十分な防護性を確保できる防護服 |
| 10 | 2010-47997 | H22. 3. 4 | 防護服 | 加藤貴司 | 脱衣し易く、製造が容易で十分な防護性を確保できる防護服 |
| 11 | 2010-47999 | H22. 3. 4 | 防護服 | 加藤貴司 | 脱衣し易く、製造が容易で十分な防護性を確保できる防護服 |
| 12 | 2010-71902 | H22. 3. 26 | 揮発性有機化合物分解反応器 | 紋川 亮 杉森博和 秋山恭子 他 1 名 | 揮発性有機化合物分解反応器をガスの流れが均一になるような構造にすることで、分解反応に寄与しないデッドゾーンが生じることを回避することで分解効率を上げ、さらに反応器自体の製造コストを抑えることを可能とする揮発性有機化合物分解反応器 |
| 13 | 2010-72806 | H22. 3. 26 | 工場排気ガス処理装置 | 小島正行 平野康之 他 2 名 | 印刷工場、塗装工場、金属表面処理工場等から排出される、光化学スモッグの原因となる微小粒子物質、特に VOC（揮発性有機化合物）および塗料、インクなどの高沸点有機化合物並びにダスト等を、ろ布に担持した吸着剤を使って除去する。ハンドリング性に優れ、かつ吸着剤の消費量が少なく、また、吸着剤の再生が容易な排気ガス処理装置 |
| 14 | 2010-72807 | H22. 3. 26 | 工場排気ガスの 2 層ろ過装置 | 小島正行 他 2 名 | 塗装、めっき、印刷等の各種工場の排気ガスに含まれるミスト、VOC、ダストなどの有害成分を、ろ布と 2 種類のろ過補助材を使って捕集する。ろ過補助材は未利用資源である木材を有効利用し、適宜回収、再生することで経済的なプロセスを確立 |
| 平成 22 年度 | | | | | |
| 1 | 2010-129014 | H22. 6. 4 | 二脚型移動装置 | 坂下和広 | 人間が暮らす住環境に存在する障害物をスムーズに乗り越えことのできる二脚型移動装置 |

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 発明者 | 内 容 |
|----|---|-------------|------------------------------|---------------------------------------|--|
| 2 | 2010-152637 | H22. 7. 5 | 4 種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法 | 菊池有加 峯 英一 上野博志 他 1 名 | 検量線を作成するフッ素、塩素、臭素、ヨウ素を含む 4 種のハロゲンおよび硫黄分析用の標準物質の収率を向上させて、また、氷冷下での滴下ではなく室温の環境下で合成することで生産環境を向上させて生産性を高めることで、工業生産が容易な上記 4 種のハロゲンおよび硫黄分析用の標準物質およびその製造方法 |
| 3 | 2010-162015 | H22. 7. 16 | 水道用ゴムパッキン | 清水研一 飛澤泰樹 他 2 名 | 高度の物性と多量の吸水性を併せて保持し、且つ安全性に優れた水道用ゴムパッキン |
| 4 | 2010-163584 | H22. 7. 21 | フィールド機器用データストレージシステム | 金田泰昌 入月康晴 佐野宏靖 他 6 名 | 記録済みのデータが外部から改変或いは削除されたりする可能性を低減できる、フィールド機器用データストレージシステム |
| 5 | 2010-198628 | H22. 9. 6 | 導電紙及びその製造方法 | 上野武司 竹村昌太 島田勝広 | 金属化率をほぼ 100%とすることで、1~1000MHz の範囲の周波数で 30~60dB の範囲の優れたシールド特性、耐熱性を有すると共に、優れた加工性を有し、また、低廉な価格で製品化できる導電紙およびその製造方法 |
| 6 | 2010-201507 【優先権主張】 原出願 2009-209756 | H22. 9. 9 | 人工骨部材 | 寺西義一 他 1 名 | セラミックス表面へ、生体無害イオンを直接照射することにより、特殊膜などを使用せずに自家骨への接着性、非接着性の制御機能などを付与する |
| 7 | 2010-219707 | H22. 9. 29 | アルミニウム合金の材質判定方法及び材質判定装置 | 竹澤 勉 上本道久 伊藤 清 | 高品位のアルミニウム合金展伸材をそのまま展伸材として水平リサイクルし、省エネルギー化・省資源化に役立てることができるアルミニウム合金の材質判定技術 |
| 8 | 2010-248770 | H22. 11. 5 | 塗装物のパッチ式乾燥装置及びその操作方法 | 小島正行 染川正一 秋山恭子 荻原利哉 他 2 名 | 判定作業の効率化を図り、被測定用半導体材料を面的に PN 判定する |
| 9 | 2010-280036 | H22. 12. 16 | コラーゲン線維ゲルおよびその用途 | 柚木俊二 他 2 名 | 細胞の牽引力により収縮しない細胞培養用コラーゲン線維ゲルの提供 |
| 10 | 2010-287832 | H22. 12. 24 | 三次元座標測定機簡易検査用ゲージ | 中西正一 西村信司 中村弘史 | JIS B 7440-2 に関する三次元座標測定機の寸法検査（目盛校正）の簡易検査と同時に JISB 7440-5 に関するマルチスタイルラスの簡易検査およびそれぞれのスタイルラスまたは方向性の相関の評価も行える三次元座標測定機簡易検査用ゲージを提供する |
| 11 | 2011-002763 | H23. 1. 11 | チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工具 | 小金井誠司 基 昭夫 他 4 名 | チタン部材について、ドライ環境下での曲げ加工が行えるようにしたチタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工具を提供する |
| 12 | 2011-016517 | H23. 1. 28 | 表示装置 | 豊島克久 | 目の疲労が少なく、製造コストを抑えることができる表示装置を得る |
| 13 | 2011-026993 | H23. 2. 10 | 情報処理装置、コンピュータプログラム、および情報処理方法 | 大平倫宏 | 3 次元図形を構成する複数の頂点に対応する複数の頂点データを有する 3 次元図形データに対する電子透かしなどの付加情報の埋め込みにおいて、データの改ざんが検出されやすくする |
| 14 | 2011-038925 | H23. 2. 24 | オゾン濃度測定装置 | 中村広隆 他 6 名 | 測定セルを通過する試料ガスが長い透過距離を移動すると透過中にオゾンが何度も紫外線に照射され、正しいオゾン濃度測定ができない。このため、窒化物系深紫外線半導体素子を使用した、正しい測定値が得られ、装置へのダメージを排除するオゾン濃度測定装置を提供する |
| 15 | 2011-041203 | H23. 2. 28 | LED 点灯回路 | 寺井幸雄 染谷克明 小林丈士 | 点灯時の突入電流からの LED 保護と低消費電力化を両立し、比較的動作電流の大きい LED の点灯を可能とする LED 点灯回路を提供する |

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 発明者 | 内 容 |
|----------|-------------|------------|------------------------------------|--|---|
| 16 | 2011-045449 | H23. 3. 2 | 加熱補助器具及び加熱装置並びに化学的酸素消費量の測定方法及び加熱方法 | 荒川 豊 | マイクロ波によって複数の試料を簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試料間の加熱むらを小さくすることができる加熱補助器具、加熱装置および加熱方法、並びに、複数の試料水について簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試料間の測定精度のばらつきを小さくすることができる化学的酸素消費量の測定方法を提供する |
| 17 | 2011-059966 | H23. 3. 18 | 赤色ガラス | 大久保一宏 増田優子 上部隆男 他 2 名 | CdSe や CdS の有害物質を添加しなくとも、その有害物質を添加した赤色ガラスの色調と同様な、鮮やかな赤色の色調の赤色ガラスを提供することを課題とする |
| 18 | 2011-065307 | H23. 3. 24 | 揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法 | 染川正一 小島正行 萩原利哉 藤井恭子 堂免一成 | 揮発性有機化合物用の触媒層を担体に担持するにあたって、触媒担持量を増やしても比表面積を大きくでき、且つ触媒層が担体から剥離しにくいので、触媒性能のアップを図ることができると共に触媒燃焼法の装置設計がし易くなる |
| 平成 23 年度 | | | | | |
| 1 | 2011-124782 | H23. 6. 3 | 有害化学物質低減木質ボードの製造方法及び有害化学物質低減木質ボード | 濱野智子 瓦田研介 他 2 名 | 木質ボードにおいて、フェノール樹脂、メラミン樹脂、ユリア樹脂、イソシアネート樹脂等の石油系樹脂を接着剤に使用しながら接着耐久性や操作性を確保しつつシックハウス症候群の原因である有害化学物質を有意義な程度まで低減した木質ボードの実現 |
| 2 | 2011-126795 | H23. 6. 6 | 数値データの圧縮システム及び方法 | 大原 衛 山口隆志 | FPC 方式の技術的課題を解消し、浮動小数点形式の数値データの圧縮率を向上させる |
| 3 | 2011-138440 | H23. 6. 22 | 絹繊維品のブリーツ加工方法及び絹繊維品のブリーツ加工品 | 武田浩司 木村千明 小林研吾 | 絹繊維品本来の特性を損なうことなく、ブリーツの保持性が優れる絹繊維織物等の絹繊維品のブリーツ加工方法およびそのブリーツ加工品を提供する |
| 4 | 2011-144300 | H23. 6. 29 | 無機・有機複合粒子及びその製造方法 | 柳 捷凡 | 水難溶解性有機化合物を無機多孔質の細孔内に含有し、種々の分野で利用することができるナノレベルサイズの無機有機複合粒子およびその製造方法を提供する |
| 5 | 2011-146285 | H23. 6. 30 | 燃料電池、その駆動システム及び燃料電池組み立てキット | 峯 英一 菊池有加 小野澤明良 上野博志 他 1 名 | 必要な部品数を少なくして組み立ておよび分解を容易にするとともに、良好な出力電圧を有する燃料電池、その駆動システムおよび燃料電池組み立てキットを提供する |
| 6 | 2011-150689 | H23. 7. 7 | 熱フィラメント CVD 装置及び成膜方法 | 長坂浩志 | 熱フィラメント CVD 法によって、有効成膜面積を大面積化することのできる熱フィラメント CVD 装置およびその装置を用いた薄膜の形成方法を得る |
| 7 | 2011-175078 | H23. 8. 10 | 揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法 | 平野康之 原本欽朗 吉田裕道 | 揮発性有機物をイオン化させ、拡散定数の大きさを判別することで、被測定対象に含まれる揮発性有機物の種別を特定することが可能な揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法に関する |
| 8 | 2011-179367 | H23. 8. 19 | はんだの組成分析方法およびはんだ溶解酸液 | 林 英男 | はんだの組成分析方法およびはんだ溶解用酸液に関し、特に、「ゲルマニウム含有鉛フリーはんだ」である、ゲルマニウムを含有し、鉛の含有量が 0.1 質量%以下のはんだの組成分析に適用して有効な技術に関する |
| 9 | 2011-220890 | H23. 10. 5 | スラリー状触媒液の付着装置 | 小島正行 藤井恭子 染川正一 萩原利哉 | スラリー状触媒液の付着装置に係り、特に有害ガスを浄化するためのハニカム構造の触媒担持担体の製造において、担体にスラリー状触媒液を遠心力を利用して均一に付着させる技術に関する |

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 発明者 | 内 容 |
|-----------------|---|-------------|---|---------------------------------------|---|
| 10 | 2011-220895 | H23. 10. 5 | 塗装物の乾燥・焼付炉 | 小島正行 藤井恭子 染川正一 萩原利哉 他 1 名 | 塗装物の乾燥・焼付炉に係り、特に中小規模の塗装工場内へ好ましく設置することができ、装置コストの低減及び塗装物を乾燥・焼付する際の省エネに寄与する技術に関する |
| 11 | 2011-227936 | H23. 10. 17 | 熱型加速度センサー | 豊島克久 | 加速度センサーに関し、三軸方向の加速度を同時に測定可能な熱型加速度センサーに関する |
| 12 | 2011-228859 | H23. 10. 18 | 有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置 | 杉森博和 他 1 名 | 活性炭やゼオライト等の吸着剤に吸着された有機溶剤を脱着して回収するための有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置の技術分野に関する開 |
| 13 | 2011-236695 | H23. 10. 28 | 制御システム | 佐藤 研 佐野宏靖 他 1 名 | 制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する |
| 14 | 2011-260878 | H23. 11. 29 | 電解セル | 斎藤正明 | 電解膜を用いて水を電気分解する電解セル、例えば重水、トリチウム水等の試料水中の純水を固体高分子電解質 (Solid Polymer Electrolyte) から成る電解膜を用いて電解し減容して該試料水を濃縮する電解セルに関する |
| 15 | 2011-262112 | H23. 11. 30 | 管内壁の研掃方法、管内壁の研掃方法に用いる偏向部材および管内壁研掃システム | 小野澤明良 木下稔夫 他 1 名 | 管内壁の研掃方法、管内壁の研掃方法に用いる偏向部材および管内壁研掃システムに関する |
| 16 | 2011-202620 【優先権主張】 原出願 2010-209727 | H23. 9. 16 | 流路形成用ガラス組成物、その組成物で形成される微細流路を備える石英ガラスマイクロリアクター及びその流路形成方法 | 田中 実 伊東洋一 上部隆男 他 1 名 | 石英ガラス基板の両板の対向面にガラスペーストを印刷してリブを形成しても、焼成で熔解により崩壊せずに、高さが 50～500 μ m の流路形成用ガラス組成物から成る微細流路が形成でき、石英ガラス基板を強固に接合でき、クラックが発生しない線熱膨張係数の小さな、ホウ珪酸塩ガラスを含有する流路形成用ガラス組成物を提供する |
| 17 | 2011-276326 | H23. 12. 16 | 防護帽、防護帽の使用方法、防護服及び防護装置 | 服部 遊 神田浩一 西沢啓子 渡辺茂幸 他 2 名 | 気体の供給によるフード部内の騒音の低減、防護帽の装着者と他人との間での意思疎通を適切に図ることのできる防護帽等に関する |
| 18 | 2011-282885 | H23. 12. 26 | 降水降下物などの自動蒸発濃縮器 | 斎藤正明 | 多量の試料水の昼夜無人連続運転が可能であり、大幅に労力を省くことのできる自動蒸発濃縮器に関する |
| 19 | 2011-283724 | H23. 12. 26 | 造粒体、造粒体の製造方法、水質浄化装置、リン酸肥料、及び、土壌改良資材 | 中澤亮二 佐々木直里 小山秀美 平井和彦 | リン酸の吸着性に優れた造粒体、前記造粒体の製造方法、リン酸の吸着性に優れた水質浄化装置に関し、また、前記造粒体を用いたリン酸肥料および土壌改良資材に関する |
| 20 | 2011-287408 | H23. 12. 28 | ダイヤモンド膜の研磨方法および装置 | 藤巻研吾 横澤 毅 | ダイヤモンド膜表面の平滑化による発熱量の低下を伴う研磨速度の減速を抑制できるダイヤモンド膜の研磨方法及び装置に関する |
| 21 | 2012-015800 | H24. 1. 27 | 吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラム | 神田浩一 西沢啓子 渡辺茂幸 | 吸音材周辺部から流入する音響エネルギーの影響を抑制し得る吸音率を得ることのできる吸音率測定装置等に関する |
| 22 | 2012-068325 【優先権主張】 原出願 2011-064405 | H24. 3. 23 | 冷却基材、冷却シート及びネッククーラー | 清水研一 飛澤泰樹 他 1 名 | 冷却シート及びネッククーラーに関するもので、更に詳しくは、物体を省エネルギー的に冷却する冷却基材、冷却シート及びネッククーラーに関する |
| 23 | 2012-074775 【優先権主張】 原出願 2011-071215 | H23. 3. 28 | コラーゲン膜及び培養容器 | 大藪淑美 柚木俊二 | 細胞を通過させずに培養液成分などの物質を通過可能であると共に、細胞の観察に適した透明性を有するコラーゲングル膜及びこれを用いた培養容器に関する |
| 平成 24 年度 | | | | | |
| 1 | 2012-103787 | H24. 4. 27 | 尾てい骨保護下着 | 藤田薫子 | 尾てい骨を保護して、長時間の着用および着座が快適となる尾てい骨保護下着に関する |

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 発明者 | 内 容 |
|----|---|-------------|--|---------------------------------------|--|
| 2 | 2012-129660 | H24. 6. 7 | 重金属吸着剤及び重金属回収方法 | 小沼ルミ 杉森博和 飯田孝彦 瓦田研介 | 金属の吸着剤、さらに詳しくは担子菌の死菌体又はこれを含有する廃菌床を利用した重金属吸着剤、及びこれらを使用する重金属回収方法等に関する |
| 3 | 2012-143083 | H24. 6. 26 | テトラフルオロエチレンにより化学修飾されたポリエチレンおよびその製造方法 | 榎本一郎 | 機能性プラスチックに関し、特に撥水性に優れた機能性ポリエチレンに関する |
| 4 | 2012-150881 | H24. 7. 4 | 冷却シート | 飛澤泰樹 清水研一 | 冷却シートに関するもので、更に詳しくは、物体を省エネルギー的に冷却する冷却シートに係るものである |
| 5 | 2012-151440 【優先権主張】 原出願 2011-150229 | H24. 7. 5 | 相溶化剤、その相溶化剤により相溶されてなる複合体、相溶化剤の製造方法及びその相溶化剤により相溶されて | 梶山哲人 清水研一 林 孝星 安田 健 | 脂肪族ポリエステルと天然繊維とを相溶せしめる際に用いる相溶化剤及びその相溶化剤により相溶されてなる複合体、そして、相溶化剤の製造方法さらに、その相溶化剤により相溶されてなる複合体の製造方法に関するものである |
| 6 | 2012-154100 【優先権主張】 原出願 2011-151286 | H24. 7. 9 | 人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法 | 菅谷紘子 岩崎謙次 | 人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関し、特に、衣服圧測定用の人体模型、当該人体模型を用いた衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関する |
| 7 | 2012-180829 【分割出願】 原出願 2008-131617 | H24. 8. 17 | 高強度ダイヤモンド膜工具 | 横澤 毅 寺西義一 玉置賢次 片岡征二 他 1 名 | 耐久損性を向上させることで破壊強度と耐摩耗性に優れ、かつ放電加工等の電気加工を主体とした研磨加工が可能な多結晶・単結晶の高強度ダイヤモンド膜工具やコーティング工具を提供することにある |
| 8 | 2012-181879 | H24. 8. 20 | 補助布付きコート、補助布及びマフラー | 加藤貴司 | 高い防寒性を確保でき、また、補助布をマフラーとして使用できるので、補助布を外しても邪魔にならず、防寒性をさらに向上できる補助布付きコート等に関する |
| 9 | 2012-186879 【優先権主張】 原出願 2011-185806 | H24. 8. 27 | 多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子 | 渡辺洋人 他 2 名 | 多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する |
| 10 | 2012-214096 | H24. 9. 27 | リング撚糸機、撚糸製造方法、織物製造方法、撚糸、織物および押圧スイッチ | 窪寺健吾 山本悦子 樋口英一 樋口明久 | 金属繊維と化学繊維等を撚り合わせてなる撚糸における金属繊維の張力の適切化を図ることができ、さらに金属繊維の張力が適切化された撚糸、そのような撚糸を製織してなる織物、そのような織物を使用した押圧スイッチに関する |
| 11 | 2012-227142 【分割出願】 原出願 2009-520544 | H24. 10. 12 | 燃料用電池用セパレータプレートの製造方法及びそれを利用した燃料電池 | 伊東洋一 上野博志 他 1 名 | 燃料電池のセパレータプレートにおける反応ガスの流通経路のパターンをスクリーン印刷により非印刷部分を設けつつ高精度に形成する |
| 12 | 2012-241704 | H24. 11. 1 | 鳥獣識別装置、鳥獣識別方法、及びプログラム | 大平倫宏 富山真一 | 未公開 |
| 13 | 2012-251622 | H24. 11. 15 | ハイドロゲル | 柚木俊二 大藪淑美 関口正之 | 未公開 |
| 14 | 2012-255357 | H24. 11. 21 | 高融点ゼラチン組成物、その製造方法、およびその用途 | 大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉 | 未公開 |
| 15 | 2012-256802 | H24. 11. 22 | コラーゲン水溶液及びそれから得られるゲル | 柚木俊二 大藪淑美 畑山博哉 | 未公開 |
| 16 | 2012-257432 | H24. 11. 26 | ライトパイプ | 横田浩之 | 未公開 |
| 17 | 2012-266048 | H24. 12. 5 | プラスチックのパイオマス由来判別方法 | 永川榮泰 柚木俊二 斎藤正明 | 未公開 |
| 18 | 2012-275046 【優先権主張】 原出願 2011-275027 | H24. 12. 17 | 骨結合性材料、人工骨並びに基材と自家骨との結合促進方法 | 寺西義一 他 1 名 | 所望の部位において自家骨との結合を促進させることができる骨結合性材料等に関する |

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 発明者 | 内 容 |
|----------|---|-------------|--|---------------------------------------|---|
| 19 | 2013-021929 | H25. 2. 7 | メカニカルシールおよびその製造方法 | 長坂浩志 渡部友太郎 寺西義一 他 1 名 | 未公開 |
| 20 | 2013-070640 【優先権主張】 原出願 2012-125985 | H25. 3. 28 | LED 照明の分光分布設計方法 | 岩永敏秀 中村広隆 他 4 名 | 基準光源との色みえの差が小さい分光分布を得ることができる、または、ある特定の色を鮮やかにかつ明るく見せる分光分布を得ることが可能となる LED 照明の分光分布設計方法に関する |
| 平成 25 年度 | | | | | |
| 1 | 2013-096087 | H25. 4. 30 | 金属編地及びその製造方法 | 唐木由佑 | 未公開 |
| 2 | 2013-095732 | H25. 4. 30 | マグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法、そのマグネシウム粉末冶金焼結体およびマグネシウム粉末冶金材料 | 岩岡 拓 | 未公開 |
| 3 | 2013-100737 | H25. 5. 10 | 光源装置 | 横田浩之 他 1 名 | 未公開 |
| 4 | 2013-113498 | H25. 5. 29 | X 線エネルギー別画像再構成装置及び方法 | 紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃 | 未公開 |
| 5 | 2013-119604 【優先権主張】 原出願 2012-129660 | H25. 6. 6 | 重金属吸着剤及び重金属回収方法 | 小沼ルミ 杉森博和 飯田孝彦 瓦田研介 | 未公開 |
| 6 | 2013-125803 | H25. 6. 14 | 配光測定装置および配光測定方法 | 横田浩之 | 未公開 |
| 7 | 2013-129077 | H25. 6. 19 | 電気ニッケルめっき液および電気めっき方法 | 浦崎香織里 土井 正 | 未公開 |
| 8 | 2013-134031 | H25. 6. 26 | 移動台車の制御装置及び移動台車の制御方法 | 坂下和広 | 未公開 |
| 9 | 2013-147761 | H25. 7. 16 | マイクロヒータ | 山岡英彦 | 未公開 |
| 10 | 2013-159010 | H25. 7. 31 | 飛行装置及び駆動装置 | 益田俊樹 森田裕介 佐々木智典 島田茂伸 坂下和広 | 未公開 |
| 11 | 2013-172143 | H25. 8. 22 | 照明器具の測光量測定安定性評価方法、測光量測定安定性評価装置、測光量測定安定性評価プログラム、およびその記録媒体 | 澁谷孝幸 岩永敏秀 横田浩之 | 未公開 |
| 12 | 2013-181647 | H25. 9. 2 | クロムフリー化成処理液および化成処理方法 | 浦崎香緒里 他 1 名 | 未公開 |
| 13 | 2013-192629 | H25. 9. 18 | オゾン濃度測定装置 | 武田有志 中村広隆 他 3 名 | 未公開 |
| 14 | 2013-194199 | H25. 9. 19 | ノード装置及びネットワークシステム | 中川善継 | 未公開 |
| 15 | 2013-195891 | H25. 9. 20 | 揮発性有機化合物成分検出センサ | 紋川 亮 月精智子 城 照彰 他 3 名 | 未公開 |
| 16 | 2013-215877 | H25. 10. 16 | 金属イオン捕集材 | 梶山哲人 他 1 名 | 未公開 |
| 17 | 2013-218054 | H25. 10. 21 | 光学部材および光源装置 | 横田浩之 他 1 名 | 未公開 |
| 18 | 2013-224627 | H25. 10. 29 | X 線三次元測定装置及び X 線三次元測定方法 | 紋川 亮 中西正一 阿部真也 | 未公開 |

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 発明者 | 内 容 |
|----|---|-------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 19 | 2013-224629 | H25. 10. 29 | 三次元測定装置及び三次元測定方法 | 紋川 亮 中西正一 阿部真也 | 未公開 |
| 20 | 2013-240142 【分割出願】 親出願 2009-053490 | H25. 11. 20 | 局在プラズモン共鳴センサ | 紋川 亮 加澤エリト | 金属微細構造を持つ局在プラズモン共鳴センサにおいて、リソグラフィ法による製造上必要不可欠な、誘電体基板と金属微細構造の間に挿入される導電層または密着層としての金属層を除去することなく、且つ複雑、高価な製造工程を必要とすることのない、局在表面プラズモン共鳴現象を利用した化学センサに関する |
| 21 | 2013-241895 | H25. 11. 22 | 運動支援システム及び運動支援プログラム | 後濱龍太 他 1名 | 未公開 |
| 22 | 2013-256516 | H25. 12. 11 | 反応物供給流路 | 峯 英一 窪寺健吾 他 2名 | 未公開 |
| 23 | 2014-000573 | H26. 1. 6 | 医療用成形体 | 寺西義一 他 2名 | 未公開 |
| 24 | 2014-001479 【優先権主張】 原出願 2013-001809 | H26. 1. 8 | リグノセルロースからのセルロース抽出方法 | 濱野智子 飯田孝彦 小沼ルミ 水越厚史 瓦田研介 | 未公開 |
| 25 | 2014-031747 | H26. 2. 21 | 黒色合金メッキ皮膜 | 水元和成 他 2名 | 未公開 |
| 26 | 2014-039680 | H26. 2. 28 | 周波数変換器、計測システム及び計測方法 | 藤原康平 小林丈士 | 未公開 |
| 27 | 2014-048017 | H26. 3. 11 | 信号検出装置及び信号検出方法 | 村上真之 志水 匠 | 未公開 |
| 28 | 2014-052115 【優先権主張】 原出願 2013-052321 | H26. 3. 14 | 塩化物イオンの定量方法及び塩化物イオンの定量装置、並びに、塩素の定量方法 | 杉森博和 安藤恵理 田熊保彦 瓦田研介 荒川 豊 | 未公開 |

(2) 外国出願（自国指定も含む）

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 発明者 | 内 容 |
|----|--|------------|-------------------------------------|----------------------|---|
| 1 | 10-2007-96585 【韓国移行出願】 | H19. 9. 21 | 絶縁層を形成するための無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト | 田中 実 上部隆男 他 3名 | 本発明による無鉛硼珪酸塩の無鉛化低融点ガラスフリットは、鉛化合物を用いず、環境にやさしく安定性がよい |
| 2 | 第 10-2009-7023522 【韓国移行】 PCT/JP2008/061295 | H21. 1. 11 | 燃料電池用のセパレータプレートの製造方法とそれを使用した燃料電池 | 伊東洋一 上野博志 他 1名 | 燃料電池用セパレータブレードの製造方法において、スクリーン印刷によって導電性材料を複数回印刷重ね、ガス流通経路の隔壁を所定のパターンで形成する方法 |
| 3 | US 13/061905 【米国移行出願】 PCT/JP2009/065214 | H23. 3. 2 | 弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器の製造装置 | 横山幸雄 | 積層造形法を適用した弦楽器、および弦楽器の製造作製方法に関する発明の特許出願である。本発明は、積層造形法の応用方法と生産装置としての活用方法とを示している |
| 4 | 2012-503249 【自国指定出願】 PCT/JP2011/054928 | H24. 7. 27 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ | 渡辺洋人 他 2名 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術 |
| 5 | US 13/582112 【米国移行出願】 PCT/JP2011/054928 | H24. 8. 31 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ | 渡辺洋人 他 2名 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術 |
| 6 | 201180011994. 1 【中国移行出願】 PCT/JP2011/054928 | H24. 9. 3 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ | 渡辺洋人 他 2名 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術 |
| 7 | 11750758. 2 【欧州移行出願】 PCT/JP2011/054928 | H24. 9. 27 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ | 渡辺洋人 他 2名 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術 |

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 発明者 | 内 容 |
|----|---|------------|---|--|--|
| 8 | 10-2012-7025433 【韓国移行出願】 PCT/JP2011/054928 | H24. 9. 27 | 多孔質シリカの製造方法 および多孔質シリカ | 渡辺洋人 他 2 名 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術 |
| 9 | 10-2013-7006447 【韓国移行出願】 PCT/JP2011/072912 | H25. 2. 26 | 燃料電池用集電材 | 樋口明久 他 7 名 | 燃料電池用集電材に係り、特に、平板型の固体酸化物型燃料電池の MEA セルとセパレータの間に設けられる集電材、及び円筒型の固体酸化物型燃料電池の MEA セルの空気極と燃料極の内周面又は外周面に設けられる集電材に関する |
| 10 | 11 2011 103 324.9 【ドイツ移行出願】 PCT/JP2011/072912 | H25. 3. 8 | 燃料電池用集電材 | 樋口明久 他 7 名 | 燃料電池用集電材に係り、特に、平板型の固体酸化物型燃料電池の MEA セルとセパレータの間に設けられる集電材、及び円筒型の固体酸化物型燃料電池の MEA セルの空気極と燃料極の内周面又は外周面に設けられる集電材に関する |
| 11 | 2013-533461 【自国指定出願】 PCT/JP2012/004025 | H26. 2. 24 | イオン化ガス検出器及び イオン化ガス検出方法 | 平野康之 原本欽朗 吉田裕道 | イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法に関する |
| 12 | 10-2014-7004939 【韓国移行出願】 PCT/JP2012/071699 | H26. 2. 25 | 多孔質シリカ内包粒子の 製造方法および多孔質シリカ、 多孔質シリカ内包粒子 | 渡辺洋人 他 2 名 | 多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する |
| 13 | US 14/241589 【米国移行出願】 PCT/JP2012/071699 | H26. 2. 27 | 多孔質シリカ内包粒子の 製造方法および多孔質シリカ、 多孔質シリカ内包粒子 | 渡辺洋人 他 2 名 | 多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する |
| 14 | 2013-531433 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072214 | H26. 2. 27 | 成形用材料及びその製造 方法並びに該成形用材料 を用いた圧縮成形体 | 木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 他 2 名 | 漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体に関する |
| 15 | 2013-531434 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072216 | H26. 2. 27 | 成形体の製造方法 | 木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 他 2 名 | 漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法に関する |
| 16 | 2013-531435 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072217 | H26. 2. 27 | 成形用材料と、これを用 いた成形体 | 木下稔夫 三尾 淳 高橋千秋 城 照彰 | 漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体に関する |
| 17 | 12828428. 8 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072214 | H26. 2. 27 | 成形用材料及びその製造 方法並びに該成形用材料 を用いた圧縮成形体 | 木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 他 2 名 | 漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体に関する |
| 18 | 12828401. 5 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072216 | H26. 2. 27 | 成形体の製造方法 | 木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 他 2 名 | 漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法に関する |
| 19 | 12826932. 1 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072217 | H26. 2. 27 | 成形用材料と、これを用 いた成形体 | 木下稔夫 三尾 淳 高橋千秋 城 照彰 | 漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体に関する |
| 20 | 201280042513. 8 【中国移行出願】 PCT/JP2012/071699 | H26. 2. 28 | 多孔質シリカ内包粒子の 製造方法および多孔質シリカ、 多孔質シリカ内包粒子 | 渡辺洋人 他 2 名 | 多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する |

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 発明者 | 内 容 |
|----|--|------------|-------------------------------------|----------------------|---|
| 21 | 12828309.0 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/071699 | H26. 3. 12 | 多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子 | 渡辺洋人 他 2 名 | 多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する |
| 22 | US 14/216,588 【米国移行出願】 PCT/JP2012/004025 | H26. 3. 17 | イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法 | 平野康之 原本欽朗 吉田裕道 | イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法に関する |


(3) PCT 出願

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 発明者 | 内 容 |
|----|---|-------------|---|--------------------------------|---|
| 1 | PCT/JP2007/001085 【優先権出願】 原出願 2006-274408 | H19. 10. 4 | カット面を着色したダイヤモンド粒子の製造方法、およびカット面に模様を描画したダイヤモンド粒子の製造方法 | 谷口昌平 他 1 名 | 低価格の天然ダイヤモンドを着色する方法であり、短時間に処理でき、照射後の熱処理を必要としないカラーダイヤモンド製造方法を提供する |
| 2 | PCT/JP2007/073723 【優先権出願】 原出願 2006-332669 | H19. 12. 7 | 手術ナイフ、手術ナイフ用ブレード及びその製造方法、並びに手術ナイフ用ハンドル | 加澤エリト 他 1 名 | 単結晶シリコンの異方性エッチング技術を用いて手術用ナイフを製造する技術に関する |
| 3 | PCT/JP2008/61295 【優先権出願】 原出願 2007-169390 | H20. 6. 20 | 燃料電池用のセパレータプレートの製造方法とそれを使用した燃料電池 | 伊東洋一 上野博志 他 1 名 | 燃料電池用セパレータブレードの製造方法において、スクリーン印刷によって導電性材料を複数回印刷重ね、ガス流通経路の隔壁を所定のパターンで形成する方法 |
| 4 | PCT/JP2009/058891 【優先権出願】 原出願 2008-127030 | H21. 5. 13 | トルエン検出センサシステム及びトルエンの検出方法 | 月精智子 他 4 名 | トルエン検出センサシステムおよびトルエンの検出方法に関し、特に高感度かつ簡便にトルエンを検出することができる、トルエン検出センサシステム及びトルエンの検出方法 |
| 5 | PCT/JP2009/065214 【優先権出願】 原出願 2008-224364 | H21. 8. 31 | 弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器の製造装置 | 横山幸雄 | 積層造形法を適用した弦楽器、および弦楽器の製造作製方法に関する発明の特許出願である。本発明は、積層造形法の応用方法と生産装置としての活用方法とを示している |
| 6 | PCT/JP2011/054928 【優先権出願】 原出願 2010-048371 | H23. 3. 3 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ | 渡辺洋人 他 2 名 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用して有効な技術 |
| 7 | PCT/JP2012/077719 【優先権出願】 原出願 2011-236695 | H24. 10. 28 | 制御システム | 佐藤 研 佐野宏靖 他 1 名 | 未公開 |
| 8 | PCT/JP2014/052958 【優先権出願】 原出願 2013-021929 | H26. 2. 7 | メカニカルシールおよびその製造方法 | 長坂浩志 渡部友太郎 寺西義一 他 1 名 | 未公開 |
| 9 | PCT/JP2014/59526 【優先権出願】 原出願 2013-074842 | H26. 3. 31 | 悪臭処理用担持触媒 | 染川正一 井上 潤 他 1 名 | 未公開 |

(4) 商標登録出願

| 番号 | 出願番号 | 出願年月日 | 名 称 | 内 容 |
|----|----------------|-------------|---|-----------------------|
| 1 | 商願 2013-084629 | H25. 10. 29 |  | 都産技研オリジナルのイメージキャラクター |
| 2 | 商願 2013-084630 | H25. 10. 29 | チリン (標準文字) | 都産技研オリジナルのイメージキャラクター名 |
| 3 | 商願 2014-003813 | H26. 1. 21 |  | 介護服の新ブランド |
| 4 | 商願 2014-024692 | H26. 3. 31 |  | 都産技研のロゴマーク |
| 5 | 商願 2014-024693 | H26. 3. 31 | 東京都立産業技術研究センター (標準文字) | 都産技研の名称 |
| 6 | 商願 2014-024694 | H26. 3. 31 | TIRI (標準文字) | 都産技研の英語略称 |

4.1.4 実施許諾

| 番号 | 項目 | 番号 | 名称 | 実施許諾 企業数 |
|----|------|------------------------------------|---|-------------|
| 1 | 特許 | 特許第 3812783 号 | 超音波振動付加型摩擦試験機 | 1 |
| 2 | 特許 | 特許第 3406390 号 | 重水素の濃縮方法及び装置 | 1 |
| 3 | 特許 | 特許第 4791746 号 韓国第 10-2006-28002 | 無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト | 1 |
| 4 | 特許 | 特許第 4394050 号 | 低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法 | 1 |
| 5 | 特許 | 特願 2009-286822 | 防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品 | 1 |
| 6 | 特許 | 特許第 3292239 号 | 鑄造用すず合金 | 1 |
| 7 | 特許 | 特許第 3779290 号 | 漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆／植物繊維成形体 | 1 |
| 8 | 特許 | 特願 2010-047997 | 防護服 | 1 |
| 9 | 特許 | 特願 2009-266467 | 家畜骨残渣の処理方法 | 1 |
| 10 | 特許 | 特願 2011-276326 | 防護帽、防護帽の使用方法、防護服及び防護装置 | 1 |
| 11 | 特許 | 特願 2011-282885 | 降水降下物などの自動蒸発濃縮器 | 2 |
| 12 | 特許 | 特許第 5107571 号 | LED 制御方法 | 1 |
| 13 | 特許 | 特願 2001-024519 | 締結体締付け力安定化剤、これを用いた締付け力安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品 | 1 |
| 14 | 特許 | 特許第 3261676 号 | 電気ニッケルめっき浴 | 1 |
| 15 | 特許 | 特許第 4599529 号 | 放射線照射判別方法および放射線判別システム | 1 |
| 16 | 特許 | 特許第 3122870 号 | 交流用 LED 点灯回路 | 2 |
| 17 | 特許 | 特願 2010-074034 | 掲示板のための照明装置 | 1 |
| 18 | 特許 | 特願 2012-251622 | ハイドロゲル | 1 |
| 19 | 特許 | 特許第 5183328 号 | 編成体及びその製造方法 | 1 |
| 20 | 特許 | 特許第 5243222 号 | 粉体分離装置、粉体分離システム、及び粉体分離方法 | 1 |
| 21 | 特許 | 特許第 5422320 号 | 揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法 | 1 |
| 22 | 特許 | 特許第 5414719 号 | 無機酸化物成形触媒とその製造方法 | 1 |
| 23 | 特許 | 特願 2011-065307 | 揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法 | 1 |
| 24 | 特許 | 特願 2013-074842 | 悪臭処理用担持触媒 | 1 |
| 25 | 特許 | 特願 2011-138440 | 絹繊維品のブリーツ加工方法及び絹繊維品のブリーツ加工品 | 1 |
| 26 | 特許 | 特許第 5083768 号 | バイオセンサシステム | 1 |
| 27 | 特許 | 特願 2012-503249 | 多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ | 1 |
| 28 | 特許 | 特願 2010-163584 | フィールド機器用データストレージシステム | 1 |
| 29 | 特許 | 特願 2011-059966 | 赤色ガラス | 1 |
| 30 | 実用新案 | 登録第 3149562 号 | モバイル細工及びモバイル | 1 |
| 31 | 商標 | 登録第 5358694 号 |  | 1 |
| 32 | 商標 | 登録第 5424369 号 | サスティーモ【標準文字】 | 1 |

4.1.5 著作権の許諾

都産技研が発行する著作物の記事利用について以下のとおり掲載申請を許諾した。

| 著作物 | 許諾先 | 掲載先 |
|--|-----------------|--|
| 東京都立産業技術研究センター 『TIRI NEWS』平成25年4月号記事 (平成25年3月25日発行)、p.10 多摩テクノ広場 「接触角計による濡れ性の評価」 http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/tiri/back_h25/1304.html | 協和界面科学(株) | 協和界面科学(株) ホームページ (トップページ)「お知らせ」および「書籍」 http://www.face-kyowa.co.jp/ |
| 東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第7号(平成24年)』 (平成24年9月28日発行)、pp.54-57 「木材のボルト接合における締付けトルクと耐力性状」 | 農林水産省 | 文献データベース「JASI」およびポータルサイト「AGROPEDIA(アグロペディア)」 |
| 東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第7号(平成24年)』 (平成24年9月28日発行)、pp.114-115 「バナナ繊維を用いたポリブチレンサクシネート複合体」 | 農林水産省 | 文献データベース「JASI」およびポータルサイト「AGROPEDIA(アグロペディア)」 |
| 東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第7号(平成24年)』 (平成24年9月28日発行)、pp.118-119 「TL 測定対象の拡大のための測定法の確立」 | 農林水産省 | 文献データベース「JASI」およびポータルサイト「AGROPEDIA(アグロペディア)」 |
| 東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第7号(平成24年)』 (平成24年9月28日発行)、pp.122-123 「ESR を利用した OH ラジカル消去能測定システムの検討」 | 農林水産省 | 文献データベース「JASI」およびポータルサイト「AGROPEDIA(アグロペディア)」 |
| 東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第7号(平成24年)』 (平成24年9月28日発行)、pp.144-145 「灌水労力を軽減する吸水性シートの開発」 | 農林水産省 | 文献データベース「JASI」およびポータルサイト「AGROPEDIA(アグロペディア)」 |
| 東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第8号(平成25年)』 (平成25年9月20日発行)、pp.26-29 「色見えを改善したLED照明器具の開発」 | 東京都産業労働局 商工部 | 平成26年2月27日開催の「都市課題解決のための技術戦略プログラム(環境編)普及セミナー～環境・エネルギー産業の動向と技術開発～」における東京都立産業技術研究センター・首都大学東京連携研究成果発表資料 |
| 東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第8号(平成25年)』 (平成25年9月20日発行)、pp.54-57 「揮発性有機物(VOC)測定用センシングシステムの開発」 | 東京都産業労働局 商工部 | 平成26年2月27日開催の「都市課題解決のための技術戦略プログラム(環境編)普及セミナー～環境・エネルギー産業の動向と技術開発～」における東京都立産業技術研究センター・首都大学東京連携研究成果発表資料 |

| 著作物 | 許諾先 | 掲載先 |
|--|-----------------|--|
| 東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第8号(平成25年)』 (平成25年9月20日発行)、pp.66-71 「生活環境に調和した小型省エネルギー機器の開発」 | 東京都産業労働局 商工部 | 平成26年2月27日開催の「都市課題解決のための技術戦略プログラム(環境編)普及セミナー～環境・エネルギー産業の動向と技術開発～」における東京都立産業技術研究センター・首都大学東京連携研究成果発表資料 |
| 東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第5号(平成22年)』 (平成22年11月15日発行)、pp.94-95 「石英ガラスのエッチングを利用した微細パターンの作製」 | (株)東レリサーチセンター | (株)東レリサーチセンター 技術レポート |
| 東京都立工業技術センター 『研究報告 第18号(昭和63年)』 (昭和63年11月発行)、p.104 「電流に及ぼす温湿度と波形の影響」 | (株)学研メディカル秀潤社 | 月刊「クリニカルエンジニアリング」2014年5月号 「漏れ電流測定値への環境の影響-試験現場からの報告-」本文内 |

また、著作物の複写(コピー)を適正に取り扱うために、平成19年度より(公社)日本複製権センターと契約している。都産技研の関連情報が掲載された記事の所内掲示および出版物などへの掲載は、各出版社の許諾を得て行っている。許諾を得たのは、日刊工業新聞、日本経済新聞、東京新聞などであった。

4.2 海外規格対応の支援 広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）

広域首都圏輸出製品技術支援センター（以下、「MTEP」という。）は、1都9県（都産技研、茨城県工業技術センター、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術センター、山梨県工業技術センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工業技術研究所（注1））が連携して実施する中小企業のための海外展開支援サービスを提供する。平成25年度は、中小企業の海外規格対応の支援について円滑かつ適切な運営を進めるための運営委員会等を、以下のとおり開催した。

| | 開催年月日 | 開催場所 | 会議等名 | 参加機関 |
|---|-----------------|-------------------|------------------|--|
| 1 | 平成25年 6月14日 | 長野県工業技術 総合センター | 第1回MTEP 事務局会議 | 1都8県運営機関（都産技研、茨城県工業技術センター、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術センター、山梨県工業技術センター、長野県工業技術総合センター） オブザーバー機関（横浜市工業技術支援センター、関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、新潟県工業技術総合研究所、静岡県工業技術研究所、(独)産業技術総合研究所） 経済産業省 |
| 2 | 平成25年 9月6日 | ちば仕事プラザ | MTEP臨時運営委員会 | 1都8県運営機関 オブザーバー機関 |
| 3 | 平成25年 12月10日 | ラフレさいたま | 第2回MTEP 事務局会議 | 1都9県運営機関（都産技研、茨城県工業技術センター、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術センター、山梨県工業技術センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工業技術研究所） オブザーバー機関（横浜市工業技術支援センター、関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、新潟県工業技術総合研究所、(独)産業技術総合研究所） |
| 4 | 平成26年 2月14日 | 埼玉県産業技術 総合センター | 第2回MTEP 運営委員会 | 1都9県運営機関 オブザーバー機関 |

注1) 静岡県は、平成25年10月から参加

4.2.1 海外展開支援サービス

- 1) 海外規格（ISO、IEC）情報の閲覧サービス
- 2) 専門相談員による技術相談

都産技研には次の12名の専門相談員を置き、相談に対応した。

| 専門相談員氏名 | 技術分野 |
|---------|-------------------|
| 森 浄 | EMC、電気安全、CE マーキング |
| 河本康太郎 | 照明、電熱 |

| | |
|----------|-------------------|
| 松浦徹也 | RoHS、REACH |
| 岡野雅一（注2） | RoHS、REACH |
| 池上利寛 | EMC、CE マーキング |
| 奥野克幸 | 中国規格、UL 規格 |
| 藤ノ木修二 | EMC、電気安全、CE マーキング |
| 小西 颯（注3） | EMC、電気安全、CE マーキング |
| 板谷雅樹 | 航空機関連 |
| 吉川 保 | 機械安全、CE マーキング |
| 日原政彦（注4） | RoHS、機械・金属 |
| 金田光範 | 機能安全（自動車・電子機器） |

注2) 平成25年7月から委嘱

注3) 平成25年10月から委嘱

注4) 平成25年9月まで委嘱

4.2.2 普及啓発活動

都産技研主催や他機関主催の技術セミナーなどへ、都産技研の職員あるいは専門相談員を派遣し、海外展開支援サービスについての普及啓発活動を以下のとおり実施した。

| No. | 開催年月日 | 実施場所 | 実施先の名称 | 講師 |
|-----|------------|--------------|---|--|
| 1 | 平成25年4月16日 | 群馬県立産業技術センター | 群馬県立産業技術センター 設立10周年記念特別講演会 『広域首都圏輸出製品技術支援センターの開設と支援内容について』 | 西野義典 |
| 2 | 平成25年5月22日 | 都産技研 本部 | グローバル時代を生き抜く知財戦略 ～あなたの会社の戦略は大丈夫ですか～ | 生島 博 |
| 3 | 平成25年5月27日 | 都産技研 本部 | 組み込みソフトウェアの機能安全～輸出時の留意点～ | 金田光範専門相談員 |
| 4 | 平成25年5月28日 | 都産技研 本部 | 改正 RoHS 指令と CE マーキング～改正の趣旨から実務の取り組み方まで～（第1回） | 松浦徹也専門相談員 |
| 5 | 平成25年5月28日 | 都産技研 本部 | MADE IN JAPAN で切り開く国際市場（MTEP 事業紹介） | 山田一徳 |
| 6 | 平成25年6月5日 | 都産技研 本部 | 中国規格入門 ～中国市場へ参入するためのアドバイス～ | 奥野克幸専門相談員 |
| 7 | 平成25年6月11日 | 都産技研 本部 | 改正 RoHS 指令と CE マーキング～改正の趣旨から実務の取り組み方まで～（第2回） | 松浦徹也専門相談員 |
| 8 | 平成25年7月10日 | 多摩テクノプラザ | 世界を変えるネットワークの世界 M2M（MTEP 事業紹介） | 西野義典 |
| 9 | 平成25年8月21日 | 都産技研 本部 | 日本の電気安全について～電気安全の考え方から輸出時の問題点まで～ | 北川 修 |
| 10 | 平成25年9月11日 | 立川グランドホテル | CE マーキング入門と事例 （EMC 指令、低電圧指令、機械指令） | 藤ノ木修二専門相談員 池上利寛専門相談員 吉川 保専門相談員 高橋文緒 西野義典 |
| 11 | 平成25年9月18日 | 都産技研 本部 | 技術者のための知財セミナー～発明の見出し方、強い権利のつくり方、活用の仕方～ | 生島 博 |

| No. | 開催年月日 | 実施場所 | 実施先の名称 | 講師 |
|-----|-----------------------------------|-------------|---|---|
| 12 | 平成 25 年 9 月 30 日 | 都産技研 本部 | 改正 RoHS に向けた自社並びにサプライヤのための環境監査ポイントについて | 岡野雅一専門相談員 |
| 13 | 平成 25 年 10 月 11 日 | 府中市市民会館 | 第 24 回府中市工業技術展「ふちゅうテクノフェア」(MTEP 事業紹介) | 森 浄専門相談員 松浦徹也専門相談員 西野義典 |
| 14 | 平成 25 年 10 月 18 日 | 多摩テクノプラザ | 産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー記念セミナー「CE マーキング・改正 RoHS 入門」 | 森 浄専門相談員 松浦徹也専門相談員 西野義典 |
| 15 | 平成 25 年 10 月 21 日 | 都産技研 本部 | 光源・照明機器の輸出入に重要な光計測技術と関連国際規格認証制度への対応 ～蛍光灯、LED 光源、レーザーの輸出促進のために～ | 河本康太郎専門相談員 |
| 16 | 平成 25 年 10 月 30 日 ～11 月 1 日 | 東京ビッグサイト | 産業交流展 2013 首都圏テクノネットワークゾーン 相談コーナー | 藤ノ木修二専門相談員 松浦徹也専門相談員 池上利寛専門相談員 吉川 保専門相談員 奥野克幸専門相談員 岡野雅一専門相談員 森 浄専門相談員 生島 博 |
| 17 | 平成 25 年 11 月 6 日 | 秋葉原 UDX ビル | CE マーキング・改正 RoHS 指令入門 (第 2 回) | 池上利寛専門相談員 松浦徹也専門相談員 東京都中小企業振興公社 山本康博氏 佐々木秀勝 西野義典 |
| 18 | 平成 25 年 11 月 7 日 | 山梨県工業技術センター | 広域首都圏輸出製品技術支援センターでの中小企業向け海外展開支援について | 西野義典 |
| 19 | 平成 25 年 11 月 14 日 | 東京ドームホテル | 朝日信用金庫 朝日ビジネスマッチング 2013 (MTEP 事業紹介) | 西野義典 |
| 20 | 平成 25 年 11 月 25 日 | 神奈川産業技術センター | JAB 主催 IEC/ISO17025 セミナー (MTEP 事業紹介) | 西野義典 |
| 21 | 平成 25 年 12 月 4 日 | 新宿 NS ビル | CE マーキング・改正 RoHS 指令入門 (第 3 回) | 藤ノ木修二専門相談員 岡野雅一専門相談員 大橋弘幸 西野義典 |
| 22 | 平成 25 年 12 月 5 日 | 茨城県工業技術センター | 海外規格取得を支援する広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP) の紹介 | 西野義典 |
| 23 | 平成 25 年 12 月 6 日 | 静岡県工業技術研究所 | 広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP) の紹介 | 西野義典 |
| 24 | 平成 25 年 12 月 17 日 | 都産技研 本部 | 特許精通シリーズ 開発成果を特許にする編～組込みソフト開発を中心に～ | 生島 博 東京都知的財産総合センター 西郷雅志氏 |
| 25 | 平成 25 年 12 月 18 日 | 都産技研 本部 | 海外規格精通シリーズ 中国編 | 奥野克幸専門相談員 松浦徹也専門相談員 西野義典 |
| 26 | 平成 26 年 1 月 22 日 | 秋葉原 UDX ビル | 海外規格精通シリーズ 北米編 | (株) UL Japan 川口昇氏 PCTEST Japan (株) 田沼幸男氏 西野義典 |
| 27 | 平成 26 年 2 月 13 日 | 都産技研 本部 | CE マーキング・改正 RoHS 指令入門 (第 4 回) | 吉川保専門相談員 松浦徹也専門相談員 西野義典 |
| 28 | 平成 26 年 2 月 20 日 | 都産技研 本部 | 海外規格精通シリーズ 医療機器編 | 小西穎専門相談員 |

| No. | 開催年月日 | 実施場所 | 実施先の名称 | 講師 |
|-----|---------------------|---------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| 29 | 平成 26 年 2 月 24 日 | 秋葉原 UDX ビル | 製品海外輸出時の輸出戦略のあり方と海外規格について ～経営者向け～ | 藤ノ木修二専門相談員 |
| 30 | 平成 26 年 3 月 10 日 | 長野県工業技術総合センター | 製品安全の国家規格（CE マーキング）の概要と対応 | 藤ノ木修二専門相談員 吉川保専門相談員 西野義典 |
| 31 | 平成 26 年 3 月 24 日 | 都産技研 本部 | 海外規格精通シリーズ IEC61010-1 徹底解明編 | 藤ノ木修二専門相談員 |
| 32 | 平成 26 年 3 月 25 日 | 都産技研 本部 | 海外規格精通シリーズ REACH/RoHS 超入門 | 松浦徹也専門相談員 岡野雅一専門相談員 西野義典 |

4.2.3 相談実績

相談実績は、次のとおりとなった。相談件数合計 806 件となり、メール相談が最も多く 423 件であった。また、相談企業の所在地別では東京都が最も多く 538 件、規模別では中小企業が最も多く 611 件であった。

(1) 相談方法別（件）

| 相談方法 | 件数 | 相談方法 | 件数 |
|------|-----|-------|-----|
| 電話 | 38 | メール | 423 |
| 来所 | 315 | テレビ会議 | 7 |
| 実地支援 | 23 | 合計 | 806 |

(2) 相談企業所在地別（件）

| | 東京都 | 茨城県 | 群馬県 | 栃木県 | 埼玉県 | 千葉県 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 件数 | 538 | 8 | 8 | 15 | 69 | 8 |

| | 神奈川県 | 山梨県 | 長野県 | 静岡県 | 新潟県 | その他 |
|----|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 件数 | 76 | 5 | 23 | 21 | 2 | 33 |

(3) 相談企業規模別（件）

| | |
|------|-----|
| 中小企業 | 611 |
| 大企業 | 152 |
| その他 | 43 |
| 合計 | 806 |

4.3 技術審査

都産技研では、東京都や公益財団法人東京都中小企業振興公社、区市、商工団体等から依頼を受け、新製品・新技術開発などの助成事業、技術表彰、認定等の技術審査のため、書類審査の実施審査委員の派遣を行った。

平成25年度は27団体からの依頼により57事業の審査に携わり、延べ3,576件の技術審査を行った。

| | 実施主体 | 審査件名 | 延べ件数 |
|-----------------------------|---------------|----------------------|------------|
| 東京都 | 産業労働局商工部 | 経営革新計画等承認審査会 | 319 |
| | 産業労働局商工部 | 東京都ベンチャー技術大賞 | 436 |
| | 産業労働局商工部 | 新事業分野開拓者認定（トライアル発注） | 166 |
| | 産業労働局商工部 | 文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞 | 45 |
| | その他 | | 84 |
| | 小計（比率%） | | 1,050(29) |
| （公財） 東京都中 小企業振 興公社 | 助成課 | （公財）東京都中小企業振興公社助成事業 | 535 |
| | 助成課 | 中小企業応援ファンド（地域資源活用助成） | 93 |
| | 助成課 | ものづくり産業基盤強化グループ支援事業 | 14 |
| | その他 | | 246 |
| | 小計（比率%） | | 888(25) |
| 区市 | 大田区 | 新製品・新技術支援事業 | 226 |
| | （公財）大田区産業振興協会 | 大田区中小企業新製品新技術コンクール | 184 |
| | 北区 | 新製品・新技術支援事業 | 28 |
| | 品川区 | 環境ビジネス支援事業 | 15 |
| | | 新製品・新技術開発促進事業 | 61 |
| | 港区 | 新製品・新技術開発支援事業 | 12 |
| | 府中市 | 新製品・新事業支援 | 12 |
| | その他 | | 214 |
| | 小計（比率%） | | 752(21) |
| 団体等 | 東京商工会議所 | 第9回勇気ある経営大賞 | 42 |
| | （公財）日本発明振興協会 | 発明大賞表彰 | 232 |
| | （一財）機械振興協会 | 新機械振興賞 | 63 |
| | 東京都中小企業団体中央会 | 受注型中小製造業競争力強化支援事業 | 124 |
| | （公大）首都大学東京 | 板橋製品技術大賞 | 98 |
| | その他 | | 146 |
| | 小計（比率%） | | 705(20) |
| その他 | 多摩信用金庫 | 多摩ブルー・グリーン賞 | 181 |
| | その他 | | 0 |
| | 小計（比率%） | | 181(5) |
| | 合計（比率%） | | 3,576(100) |